

令和6年度第5期鶴見区地域福祉保健計画

区民アンケート調査

調査結果報告書

令和6年11月

横浜市鶴見区

－目次－

第1章 アンケート調査の概要	4
1. 調査の目的	4
2. 調査の方法	4
3. 回答者の属性	5
第2章 アンケート調査結果	9
1. 現在お住まいの地域について.....	9
①-1 あなたは現在お住まいの地域に、これからも住み続けたいと思いますか？	9
○年代ごとの住み続けたい意向 クロス分析[①-1×年代]	9
○【参考】9エリアごとの住み続けたい意向 クロス分析[①-1×居住エリア]	10
①-2 そう思う理由は何ですか？（①-1 で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を選択した人）	11
○年代ごとの住み続けたい理由 クロス分析[①-2×年代]	11
○【参考】9エリアごとの住み続けたい理由 クロス分析[①-2×居住エリア]	12
2. 近隣との関わりについて.....	13
②-1 あなたは日頃、近所の人とどの程度の付き合いをしていますか？	13
○年代ごとの近所の人との関わりの程度 クロス分析[②-1×年代].....	13
○年代ごとのまったく付き合いはない割合 クロス分析[②-1「まったく付き合いはない」×年代] ...	13
○【参考】9エリアごとの近所の人との関わりの程度 クロス分析[②-1×居住エリア]	14
②-2 あなたは日頃、近所の人とどの程度の付き合いを望みますか？	15
○年代ごとの希望する「近所との関わり」の程度 クロス分析[②-2×年代]	15
○現在、「近所の人とまったく付き合いはない」人が、希望する「近所との関わり」の程度 クロス分析 [②-1「まったく付き合いはない」×②-2].....	16
②-3 災害時に地域での助け合いが行われるためには、日頃からの地域での顔の見える関係が築 けていることが必要だと思いますか？	17
②-4 日頃からお互いの関係づくりができるためには、どのようなことが必要だと思いますか？	17
3. 周囲の方と交流する頻度について	18
③ 同居家族以外（近所の方や友人、職場の人等）と会うなどして交流する頻度はどれくらいです か？	18
○年代ごとの「周囲の方と交流」の程度 クロス分析[③×年代].....	18
4. 不安や悩みについて.....	19
④-1 あなたは現在次のような不安や悩みがありますか？	19
○年代ごとの不安や悩み クロス分析[④-1×年代]	19
④-2 あなたは不安や悩みを主に誰に相談していますか？	21
○年代ごとの、不安や悩みの相談先 クロス分析[④-2×年代]	21
5. 地域活動への参加状況について.....	23
⑤-1 あなたはご近所や区内で行われている次のような活動に参加していますか？	23
○地域活動への参加状況.....	23
○年代ごとの「地域活動」参加状況 クロス分析[⑤-1「参加状況」×年代]	24
○【参考】9エリアごとの地域活動への参加状況 クロス分析[⑤-1「参加状況」×居住エリア]	24
○性別ごとの「地域活動」参加状況 クロス分析[⑤-1「参加状況」×性別]	25

○近所の人との付き合いごとの「地域活動」参加状況 クロス分析[⑤-1「参加状況」×②-1]	25
⑤-2 活動に参加したきっかけは何ですか？(⑤-1 で、「1.参加している」をひとつでも選択した人)	26
⑤-3 活動に参加してよかったと思うことは何ですか？(⑤-1 で、「1.参加している」をひとつでも選択した人)	26
⑤-4 どのような状況であれば活動に参加しやすいですか？(⑤-1 で、「2.今は参加していないが、今後は参加してみたい」をひとつでも選択した人)	27
6. 地域の情報を得る方法について	28
⑥ 地域の情報を得る方法として、今、利用しているものは何ですか？	28
○年代ごとの「地域の情報を得る方法」 クロス分析[⑥×年代]	28
○【参考】9エリアごとの地域の情報を得る方法の割合 クロス分析[⑥×居住エリア]	29
7. 地域での必要な支援について	30
⑦-1 あなたが高齢や病気などで日常生活が不自由になった場合、近所で手助けしてほしいと思うことは、どのようなことですか？	30
○年代ごとの、近所で手助けしてほしい内容 クロス分析[⑦-1×年代]	30
⑦-2 近所で高齢者や障害のある人の介助・介護や子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができると思いますか？	32
⑦-3 お住まいの地域がもっと住みやすくなるために、どのようなことが今後充実するとよいと思いますか？	33
○【参考】9エリアごとの地域が住みやすくなるために充実するとよいと思う内容 クロス分析[⑦-3×居住エリア]	33
⑦-4 地域の中で、あったらいいと思う交流の場について教えてください。	35
○年代ごとの「あったらいいと思う交流の場」の内容 クロス分析[⑦-4×年代]	35
○【参考】9エリアごとのあったらいいと思う交流の場の内容 クロス分析[⑦-4×居住エリア]	36
8. 誰もが安心して暮らせる地域づくりについて	38
⑧-1「国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解し、地域でともに生きていく社会」を「多文化共生社会」といいます。「多文化共生のまちづくり」を進めるために、あなたは何ができると思いますか？	38
○年代ごとの、多文化共生のまちづくりを進めるために、自分ができると思うこと クロス分析[⑧-1×年代]	38
⑧-2 鶴見区では、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して、様々な取組を行っています。あなたは、認知症のどんなことに関心がありますか？	41
9. 心と体の健康などについて	42
⑨-1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前よりもあなたが一層大切と思うようになったことを教えてください。	42
⑨-2 あなたはご自身のことを健康だと思えますか？	42
○近所付き合いの程度ごとの健康観 クロス分析[⑨-2×②-1]	43
○健康観ごとの、地域活動参加状況 クロス分析[⑨-2×⑤-1「何らかに参加している」]	43
⑨-3 あなたは過去1年間に一般的な健康診断を受診されましたか？	44
⑨-4 あなたは過去1年間に歯科健診を受けましたか？	44
10. 「鶴見・あいねっと(鶴見区地域福祉保健計画)」について	45

⑩ あなたは「鶴見・あいねっと(鶴見区地域福祉保健計画)」を知っていますか？	45
○年代ごとの「鶴見・あいねっと」の認知度 クロス分析[⑩×年代]	45
11. 「民生委員・児童委員」「地区社会福祉協議会」「地域ケアプラザ」について.....	46
⑪-1 あなたは「民生委員・児童委員」を知っていますか？	46
○年代ごとの「民生委員・児童委員」の認知度 クロス分析[⑪-1×年代].....	46
⑪-2 あなたは会「地区社会福祉協議会」を知っていますか？	47
○年代ごとの「地区社会福祉協議会」の認知度 クロス分析[⑪-2×年代]	47
⑪-3 あなたは「地域ケアプラザ」を知っていますか？	48
○年代ごとの「地域ケアプラザ」の認知度 クロス分析[⑪-3×年代].....	48

第1章 アンケート調査の概要

1. 調査の目的

第5期鶴見区地域福祉保健計画の策定にあたり、区民の現状や意向を把握し、地域福祉保健計画へ反映していくための基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査の方法

調査の対象者、期間、配布・回収方法、回収率は以下の通りです。

調査対象	住民基本台帳から、鶴見区内に在住する18歳以上の方2,000人を外国人を含めて無作為抽出
調査期間	2024年8月9日～9月11日
配布・回収方法	配布は郵送、回収は郵送回答またはインターネット回答
回収票	804票
回収率	40.2%
有効回答票※	800票
有効回答率	40.0%

※郵送・インターネット回答の重複を除いた票

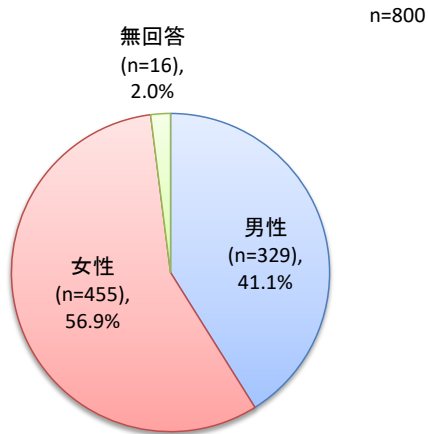
【留意事項】

- 設問には1つのみ答えるものと複数回答のものがあり、複数回答の設問では、割合の合計は100%を超えます。
- 百分率(%)の計算は、小数点第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。小数点の表示のないものは、小数第1位を四捨五入しています。
- グラフに表示されている「n」は回答者数を表しています。全員を対象とする設問については「n」は800となっています。回答者を限定する設問においては「n」の値が変わります。
- 年代や性別などの回答者属性とのクロス集計を行うものについて、回答者属性の回答がないものについて表示していない場合があります。この場合、表示されている「n」の合計は800にはなりません。
- ケアプラザエリアごとの結果については、回答数に差異があるため、参考資料としてご活用ください。

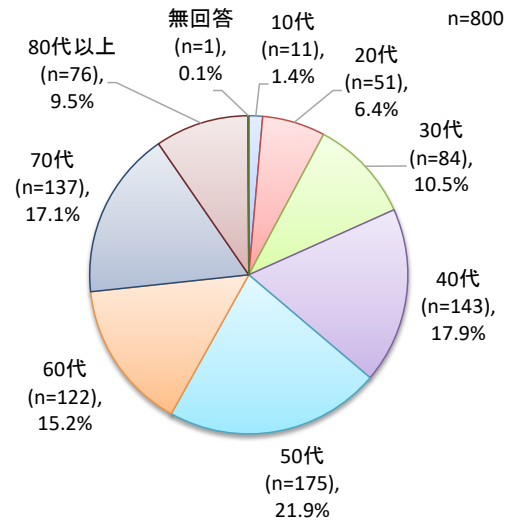
3. 回答者の属性

回答者の属性は以下の通りです。

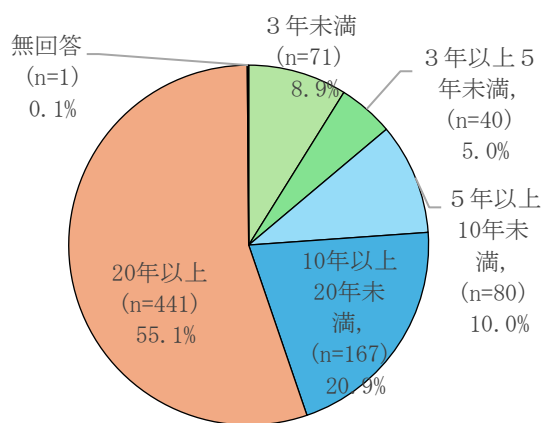
○性別



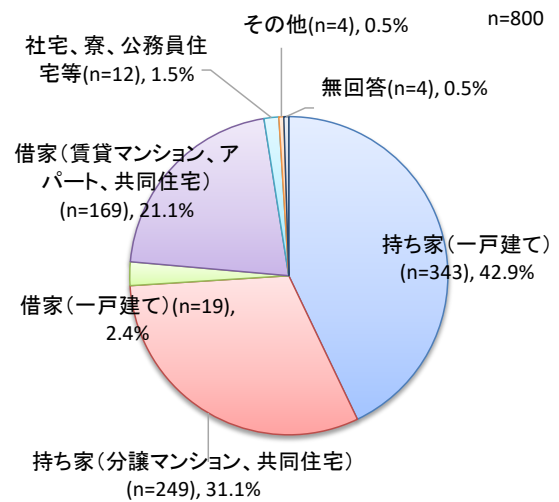
○年齢



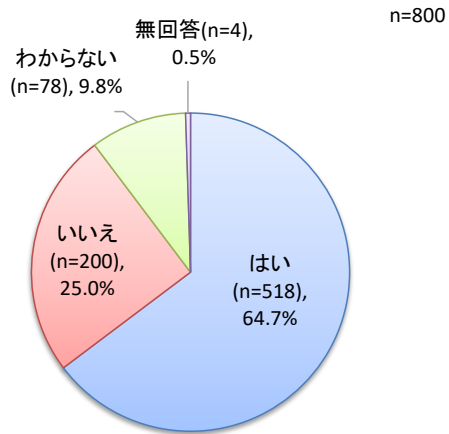
○居住年数



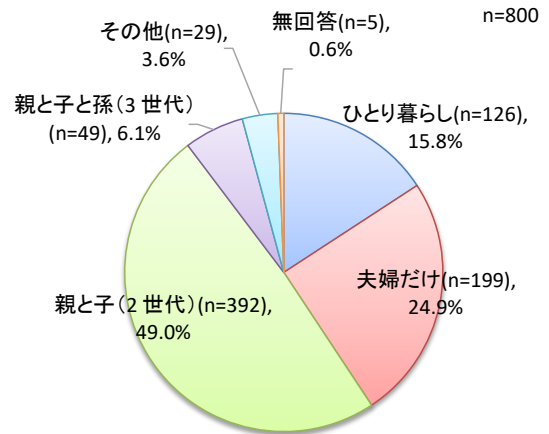
○居住形態



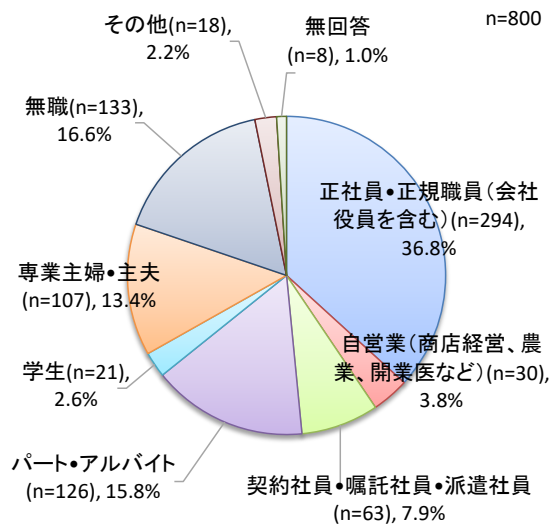
○町内会・自治会への加入



○世帯構成



○就業状況



○居住地別の回答者割合（町丁別）

NO	あ～こ	(%)	NO	さ～な(か)	(%)	NO	な(ま)～や	(%)
1	朝日町 1 丁目	0.1	44	栄町通 1 丁目	0.2	88	生麦一丁目	0.6
2	朝日町 2 丁目	0.8	45	栄町通 2 丁目	0.1	89	生麦二丁目	0.0
3	安善町一丁目	0.1	46	栄町通 3 丁目	0.4	90	生麦三丁目	0.8
4	安善町二丁目	0.0	47	栄町通 4 丁目	0.0	91	生麦四丁目	0.9
5	市場上町	1.0	48	汐入町 1 丁目	0.4	92	生麦五丁	1.1
6	市場下町	1.2	49	汐入町 2 丁目	0.1	93	馬場一丁目	0.9
7	市場西中町	0.2	50	汐入町 3 丁目	0.2	94	馬場二丁目	1.2
8	市場東中町	0.5	51	獅子ヶ谷一丁目	2.2	95	馬場三丁目	0.6
9	市場富士見町	0.5	52	獅子ヶ谷二丁目	0.6	96	馬場四丁目	0.9
10	市場大和町	0.2	53	獅子ヶ谷三丁目	0.1	97	馬場五丁目	0.4
11	潮田町 1 丁目	0.4	54	下野谷町 1 丁目	0.5	98	馬場六丁目	1.5
12	潮田町 2 丁目	1.0	55	下野谷町 2 丁目	0.1	99	馬場七丁目	0.8
13	潮田町 3 丁目	0.2	56	下野谷町 3 丁目	0.0	100	浜町 1 丁目	0.5
14	潮田町 4 丁目	0.1	57	下野谷町 4 丁目	0.6	101	浜町 2 丁目	0.0
15	江ヶ崎町	2.4	58	尻手一丁目	1.9	102	東寺尾一丁目	0.8
16	扇島	0.0	59	尻手二丁目	0.6	103	東寺尾二丁目	0.6
17	小野町	0.9	60	尻手三丁目	1.6	104	東寺尾三丁目	0.9
18	梶山一丁目	0.6	61	下末吉一丁目	1.0	105	東寺尾四丁目	1.2
19	梶山二丁目	0.9	62	下末吉二丁目	0.6	106	東寺尾五丁目	1.1
20	上末吉一丁目	0.6	63	下末吉三丁目	1.4	107	東寺尾六丁目	1.2
21	上末吉二丁目	1.2	64	下末吉四丁目	0.8	108	東寺尾北台	0.8
22	上末吉三丁目	0.4	65	下末吉五丁目	1.2	109	東寺尾中台	1.8
23	上末吉四丁目	0.5	66	下末吉六丁目	1.1	110	東寺尾東台	0.4
24	上末吉五丁目	1.0	67	末広町 1 丁目	0.0	111	平安町 1 丁目	1.1
25	上の宮一丁目	1.0	68	末広町 2 丁目	0.0	112	平安町 2 丁目	1.2
26	上の宮二丁目	1.0	69	菅沢町	0.5	113	弁天町	0.0
27	寛政町	0.8	70	諏訪坂	0.5	114	本町通 1 丁目	0.6
28	岸谷一丁目	0.4	71	大黒町	0.0	115	本町通 2 丁目	0.6
29	岸谷二丁目	0.8	72	大黒ふ頭	0.0	116	本町通 3 丁目	0.1
30	岸谷三丁目	1.4	73	大東町	0.6	117	本町通 4 丁目	0.4
31	岸谷四丁目	0.9	74	佃野町	1.8	118	向井町 1 丁目	0.2
32	北寺尾一丁目	0.8	75	鶴見一丁目	1.0	119	向井町 2 丁目	0.2
33	北寺尾二丁目	0.4	76	鶴見二丁目	0.2	120	矢向一丁目	0.4
34	北寺尾三丁目	0.6	77	鶴見中央一丁目	1.6	121	矢向二丁目	0.2
35	北寺尾四丁目	0.6	78	鶴見中央二丁目	2.4	122	向井町 3 丁目	0.8
36	北寺尾五丁目	0.6	79	鶴見中央三丁目	1.4	123	向井町 4 丁目	0.5
37	北寺尾六丁目	0.9	80	鶴見中央四丁目	1.6	124	矢向三丁目	2.2
38	北寺尾七丁目	1.5	81	鶴見中央五丁目	1.8	125	矢向四丁目	0.4
39	駒岡一丁目	1.5	82	寺谷一丁目	0.9	126	元宮一丁目	2.0
40	駒岡二丁目	0.2	83	寺谷二丁目	0.8	127	元宮二丁目	1.5
41	駒岡三丁目	0.9	84	豊岡町	2.4	128	矢向五丁目	0.8
42	駒岡四丁目	1.5	85	仲通 1 丁目	0.2	129	矢向六丁目	0.2
43	駒岡五丁目	0.9	86	仲通 2 丁目	0.1		無回答	1.9
		0.0	87	仲通 3 丁目	0.4			

○地域ケアプラザ管轄地区ごとの回答者数

回答数: 800

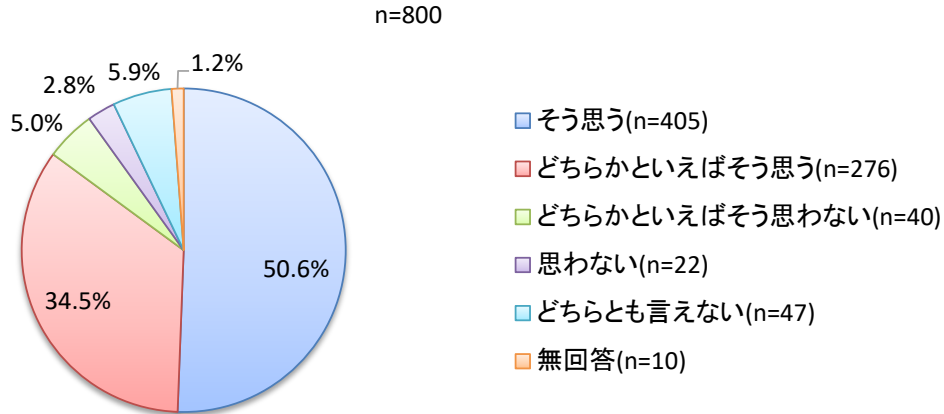
	潮田CPエリア		矢向CPエリア		寺尾CPエリア		東寺尾CPエリア		駒岡CPエリア		鶴見市場CPエリア		鶴見中央CPエリア		生麦CPエリア		馬場CPエリア		無回答
	37町丁		7町丁		12町丁		9町丁		18町丁		16町丁		12町丁		7町丁		11町丁		
	町丁NO	人数	町丁NO	人数	町丁NO	人数	町丁NO	人数	町丁NO	人数	町丁NO	人数	町丁NO	人数	町丁NO	人数	町丁NO	人数	
1	1	1	15	19	32	6	28	3	18	5	5	8	70	4	71	0	25	8	
2	2	6	124	18	33	3	29	6	19	7	6	10	74	14	72	0	26	8	
3	3	1	125	3	34	5	30	11	20	5	7	2	75	8	88	5	37	7	
4	4	0	126	16	35	5	31	7	21	10	8	4	76	2	89	0	38	12	
5	11	3	127	12	36	5	102	6	22	3	9	4	77	13	90	6	93	7	
6	12	8	128	6	51	18	103	5	23	4	10	2	78	19	91	7	94	10	
7	13	2	129	2	52	5	104	7	24	8	46	3	79	11	92	9	95	5	
8	14	1			53	1	105	10	39	12	47	0	80	13			96	7	
9	16	0			107	10	106	9	40	2	58	15	81	14			97	3	
10	17	7			108	6			41	7	59	5	82	7			98	12	
11	27	6			109	14			42	12	60	13	83	6			99	6	
12	44	2			110	3			43	7	69	4	84	19					
13	45	1							61	8	111	9							
14	48	3							62	5	112	10							
15	49	1							63	11	122	6							
16	50	2							64	6	123	4							
17	54	4							65	10									
18	55	1							66	9									
19	56	0																	
20	57	5																	
21	67	0																	
22	68	0																	
23	73	5																	
24	85	2																	
25	86	1																	
26	87	3																	
27	100	4																	
28	101	0																	
29	113	0																	
30	114	5																	
31	115	5																	
32	116	1																	
33	117	3																	
34	118	2																	
35	119	2																	
36	120	3																	
37	121	2																	
n	92		76		81		64		131		99		130		27		85		15
%	11.5		9.5		10.1		8.0		16.4		12.4		16.3		3.4		10.6		1.9
	潮田CPエリア	矢向CPエリア	寺尾CPエリア	東寺尾CPエリア	駒岡CPエリア	鶴見市場CPエリア	鶴見中央CPエリア	生麦CPエリア	馬場CPエリア	無回答									

※クロス分析に用いる居住地区は、地域ケアプラザの管轄する9エリア（潮田、矢向、寺尾、東寺尾、駒岡、鶴見市場、鶴見中央、生麦、馬場）としています。

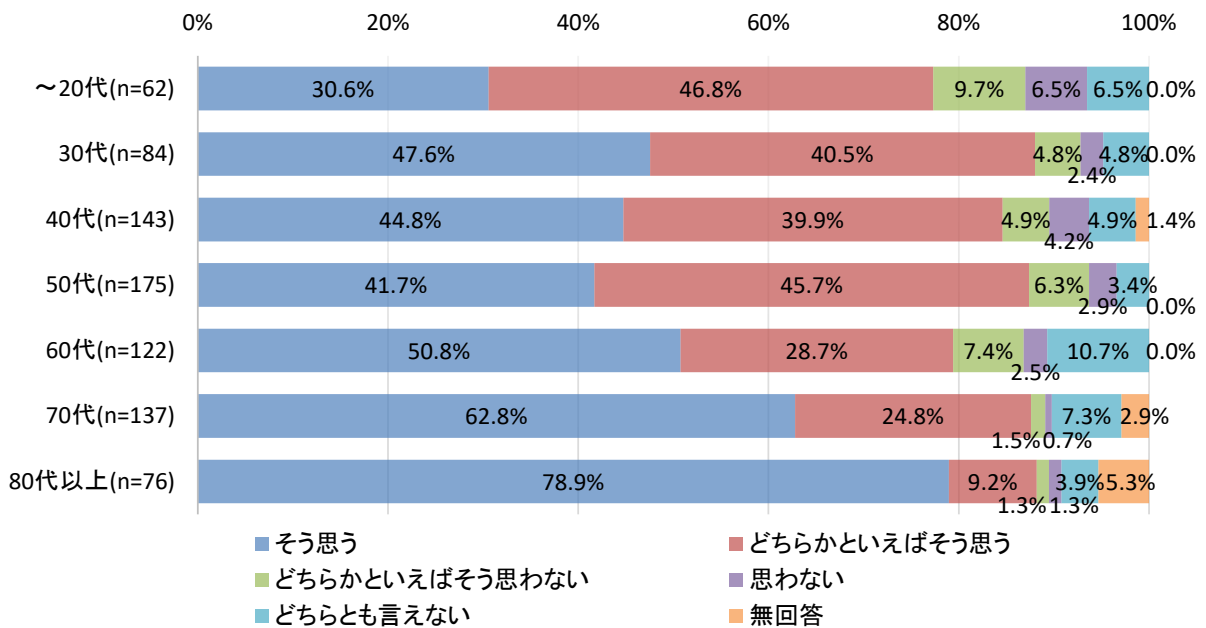
第2章 アンケート調査結果

1. 現在お住まいの地域について

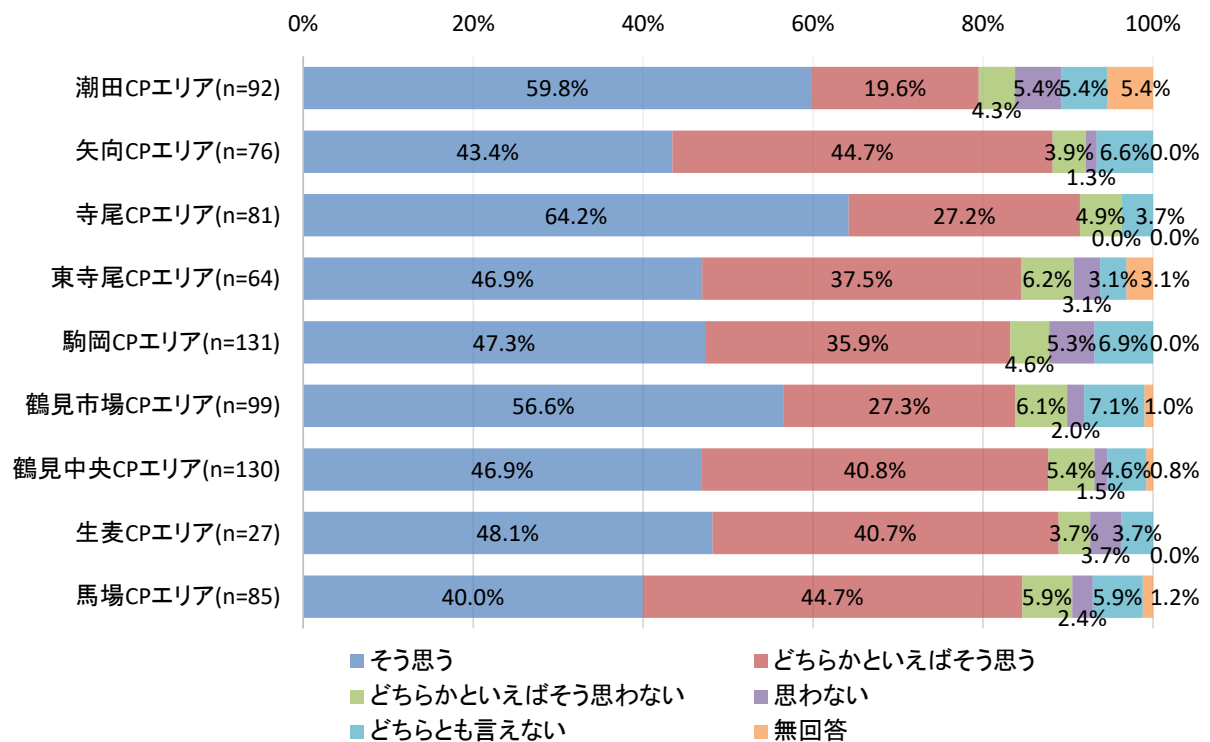
①-1 あなたは現在お住まいの地域に、これからも住み続けたいと思いますか？



〇年代ごとの住み続けたい意向 クロス分析[①-1×年代]



○【参考】9エリアごとの住み続けたい意向 クロス分析[①-1×居住エリア]



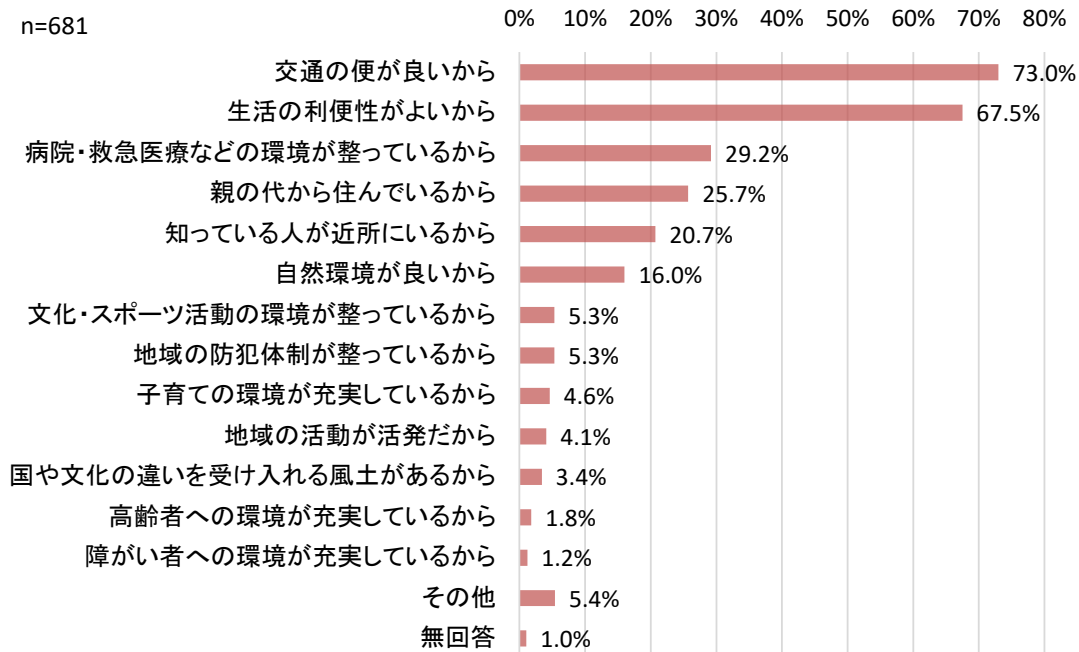
【コメント】

現在お住まいの地域への住み続けたい意向について、「そう思う」が50.6%、「どちらかといえばそう思う」が34.5%となっており、85.1%が今後も住み続けたいと思っている。

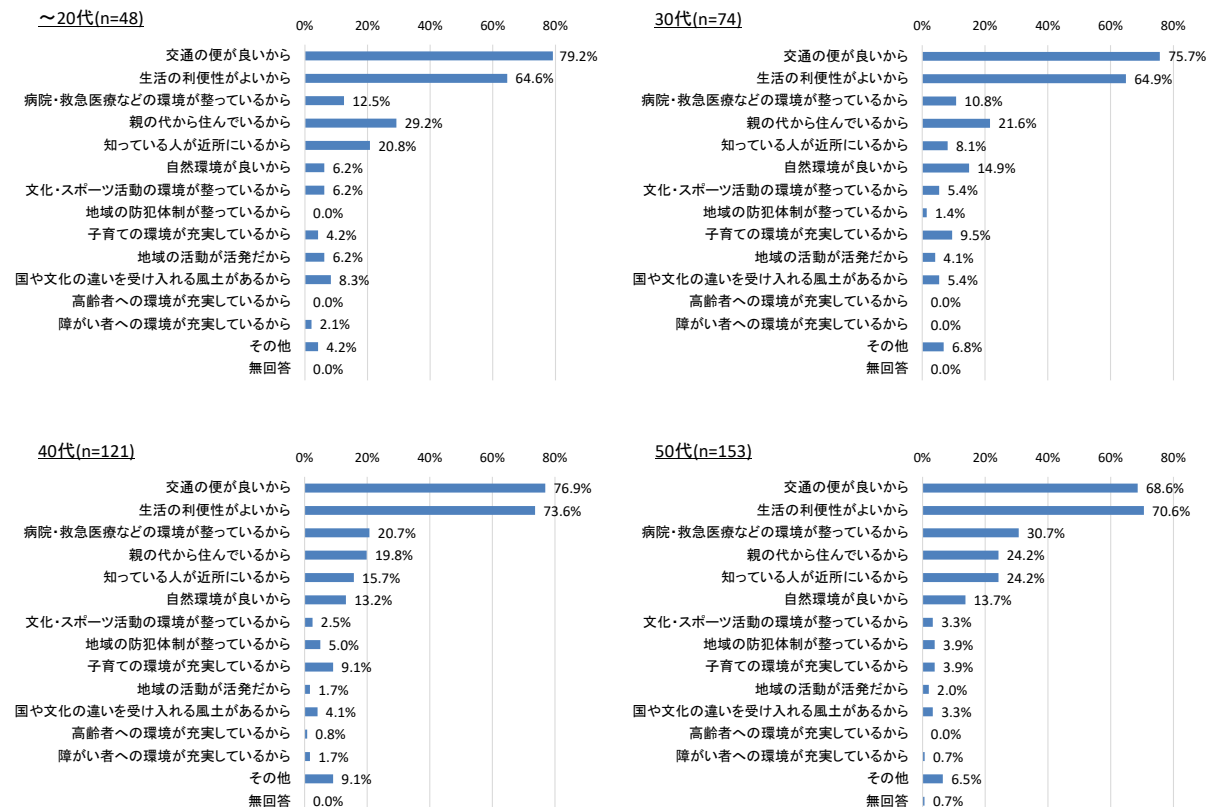
年代別にみると、50代以上で年代が上がるにつれて「そう思う」の割合が高くなっており、80代以上が78.9%と最も高くなっている。また、「そう思う」が30.6%と最も低い～20代も、「どちらかといえばそう思う」の46.8%を合わせると77.4%となっている。

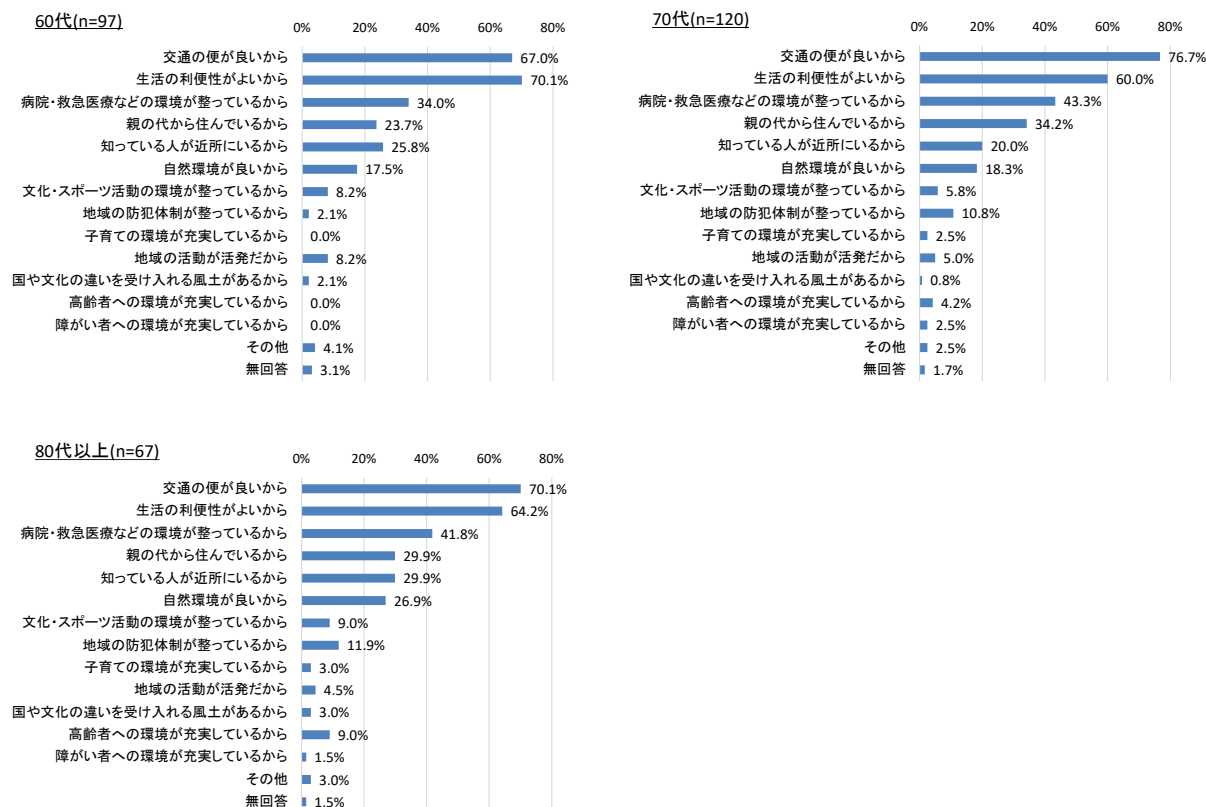
居住エリアごとにみると、寺尾CPエリア、潮田CPエリア、鶴見市場CPエリアにおいて、「そう思う」がそれぞれ64.2%、59.8%、56.6%と高い割合となっている。「そう思う」が最も低い割合の馬場CPエリアでも「どちらかといえばそう思う」を合わせると、84.7%と高い割合になっている。

①-2 そう思う理由は何ですか？（①-1で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を選択した人）



〇年代ごとの住み続けたい理由 クロス分析[①-2×年代]





○【参考】 9エリアごとの住み続けたい理由 クロス分析[①-2×居住エリア]

	n=	交通の便が良いから	生活の利便性がよいから	病院・救急医療などの環境が整っているから	親の代から住んでいるから	知っている人が近所にいるから	自然環境が良いから	文化・スポーツ活動の環境が整っているから	地域の防犯体制が整っているから	子育ての環境が充実しているから	地域の活動が活発だから	国や文化の違いを受け入れる風土があるから	高齢者への環境が充実しているから	障がい者への環境が充実しているから	その他	無回答
全体	800	73.0%	67.5%	29.2%	25.7%	20.7%	16.0%	5.3%	5.3%	4.6%	4.1%	3.4%	1.8%	1.2%	5.4%	1.0%
潮田	73	84.9%	75.3%	27.4%	43.8%	28.8%	8.2%	5.5%	9.6%	2.7%	5.5%	9.6%	4.1%	1.4%	1.4%	0.0%
矢向	67	76.1%	76.1%	34.3%	20.9%	22.4%	7.5%	3.0%	6.0%	3.0%	4.5%	4.5%	3.0%	1.5%	7.5%	3.0%
寺尾	74	62.2%	62.2%	35.1%	25.7%	18.9%	29.7%	2.7%	5.4%	6.8%	2.7%	0.0%	4.1%	0.0%	6.8%	1.4%
東寺尾	54	61.1%	63.0%	27.8%	22.2%	20.4%	20.4%	1.9%	1.9%	3.7%	3.7%	0.0%	3.7%	1.9%	3.7%	1.9%
駒岡	109	59.6%	54.1%	34.9%	27.5%	18.3%	25.7%	5.5%	7.3%	4.6%	2.8%	2.8%	0.0%	1.8%	9.2%	1.8%
鶴見市場	83	83.1%	83.1%	38.6%	18.1%	27.7%	8.4%	9.6%	4.8%	7.2%	7.2%	2.4%	0.0%	1.2%	2.4%	0.0%
鶴見中央	114	84.2%	77.2%	23.7%	17.5%	14.0%	5.3%	6.1%	0.9%	1.8%	2.6%	6.1%	0.0%	0.0%	6.1%	0.9%
生麦	24	91.7%	66.7%	20.8%	25.0%	12.5%	12.5%	16.7%	16.7%	8.3%	12.5%	4.2%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%
馬場	72	62.5%	47.2%	15.3%	29.2%	22.2%	27.8%	2.8%	4.2%	6.9%	2.8%	0.0%	1.4%	2.8%	5.6%	0.0%

※各エリアの割合が、エリア全体に占める割合より大きい場合、緑色に塗りつぶしています。

【コメント】

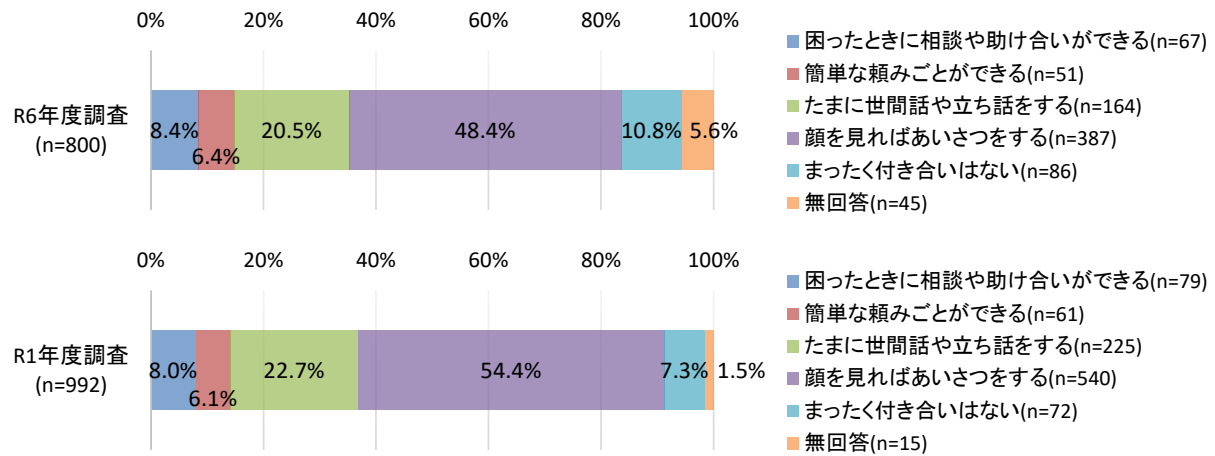
住み続けたいと思う理由については「交通の便が良いから」が73.0%と最も高く、次いで「生活の利便性がよいから」の67.5%が続いている。

住み続けたいと思う理由について年代別にみると、上位2項目の「交通の便が良いから」「生活の利便性がよいから」についてはどの年代も高い割合となっている。「病院・救急医療などの環境が整っているから」については、70代以上の割合が高く、30代以下の割合が低くなっている。

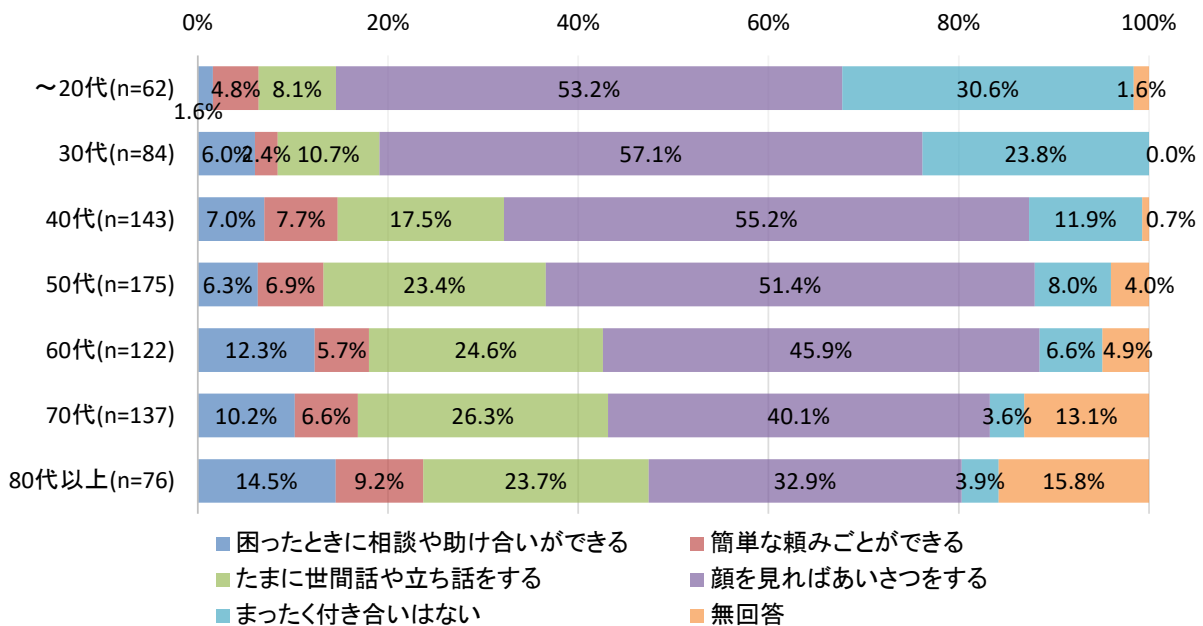
居住エリアごとにみると、「交通の便が良いから」という理由で最も高いのは、生麦CPエリアの91.7%、「生活の利便性がよいから」では鶴見市場CPエリアの83.1%が最も高くなっている。

2. 近隣との関わりについて

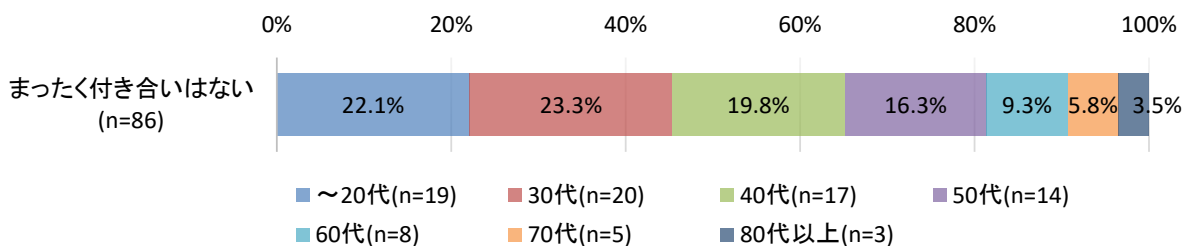
②-1 あなたは日頃、近所の人とどの程度の付き合いをしていますか？



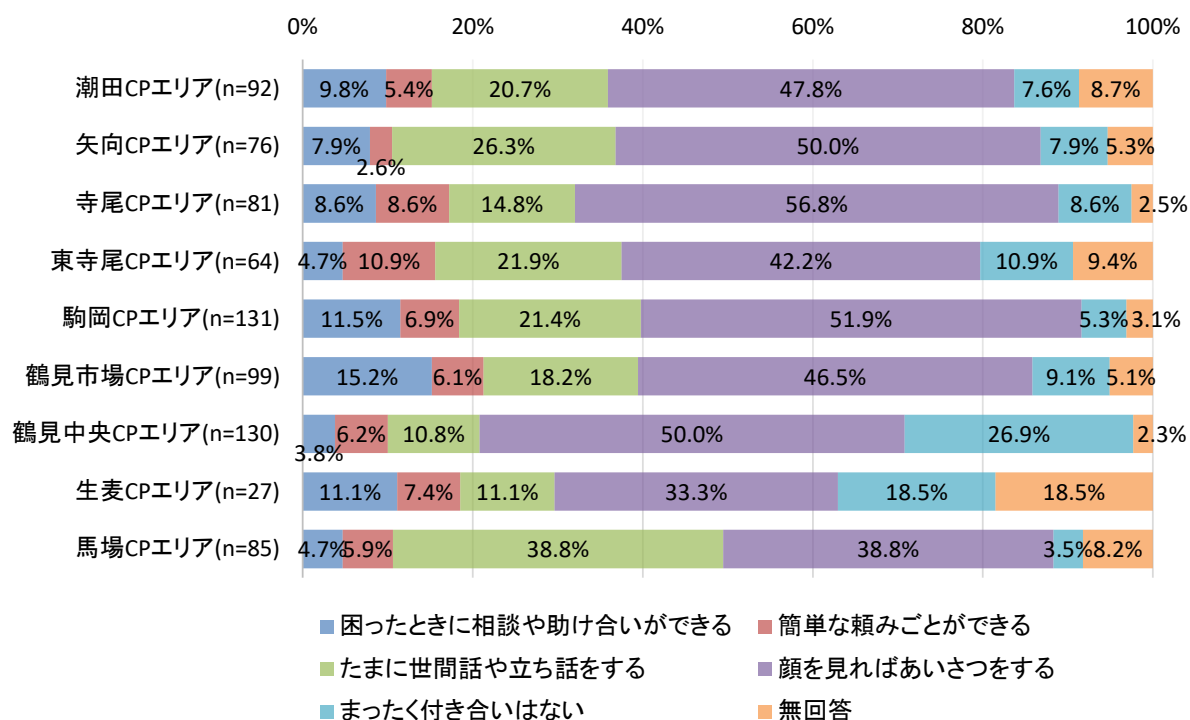
〇年代ごとの近所の人との関わり方の程度 クロス分析[②-1×年代]



〇年代ごとのまったく付き合いはない割合 クロス分析[②-1「まったく付き合いはない」×年代]



○【参考】 9エリアごとの近所の人との関わりの程度 クロス分析[②-1×居住エリア]



【コメント】

日ごろの近所付き合いの程度について、令和元年度調査と比較すると、「顔を見ればあいさつをする」が6%減少しており、「まったく付き合いはない」は3.5%増加している。

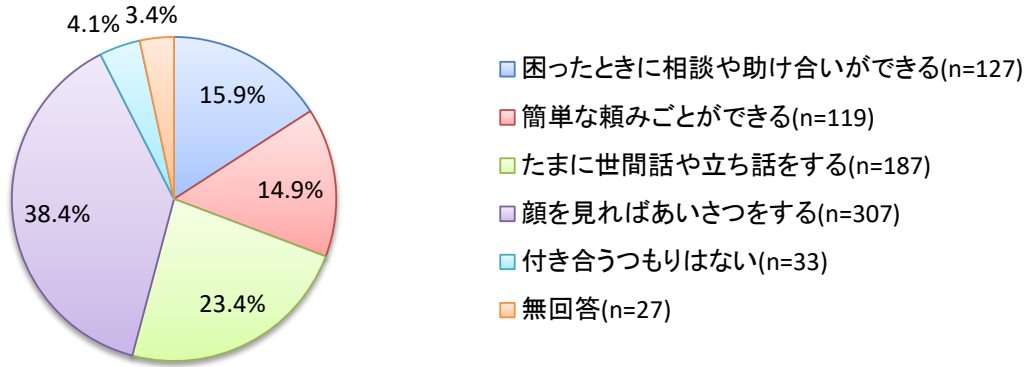
年代別にみると、「困ったときに相談や助け合いができる」では80代以上が14.5%と最も高く、～20代の1.6%が最も低くなっている。「たまに世間話や立ち話をする」では、年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向がある。一方、「まったく付き合いはない」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

近所の人とまったく付き合いのない人について年代別にみると、「30代」が23.3%と最も高く、次いで、「～20代」22.1%、「40代」19.8%となっており、「80代以上」が最も低い割合となっている。

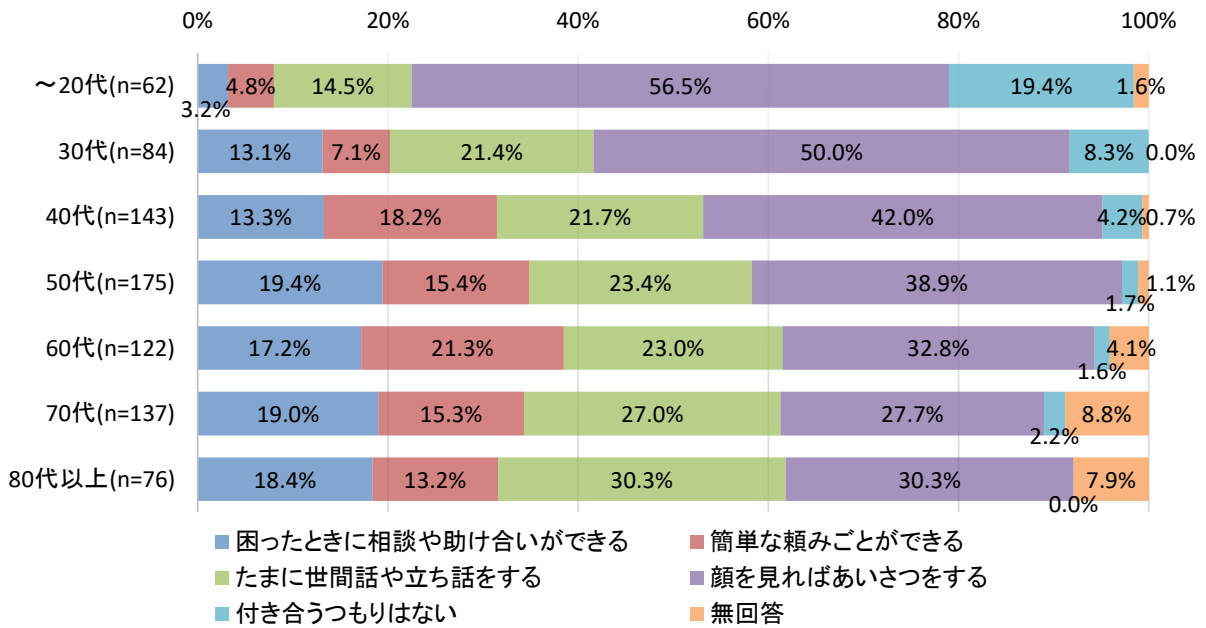
近所付き合いの程度について居住エリアごとにみると、「困ったときに相談や助け合いができる」では鶴見市場CPエリアが15.2%と最も高く、鶴見中央CPエリアの3.8%が最も低くなっている。鶴見中央CPエリアと生麦CPエリアにおいては、「たまに世間話や立ち話をする」の割合が低く、「まったく付き合いはない」の割合が高くなっている。

②-2 あなたは日頃、近所の人とどの程度の付き合いを望みますか？

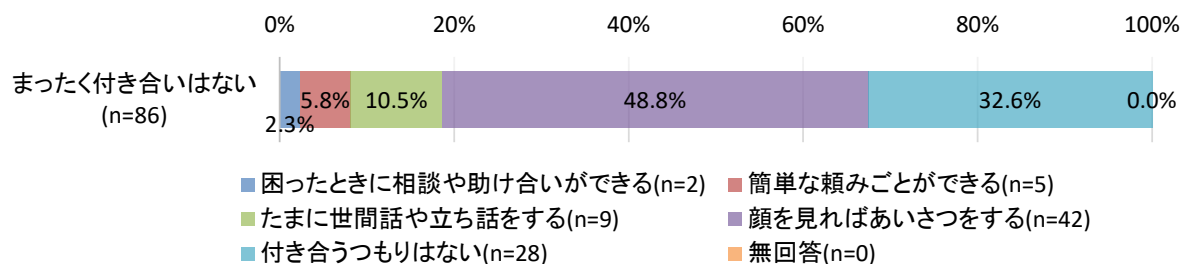
n=800



〇年代ごとの希望する「近所との関わり」の程度 クロス分析[②-2×年代]



○現在、「近所の人とまったく付き合いはない」人が、希望する「近所との関わり」の程度 クロス分析[②-1「まったく付き合いはない」×②-2]



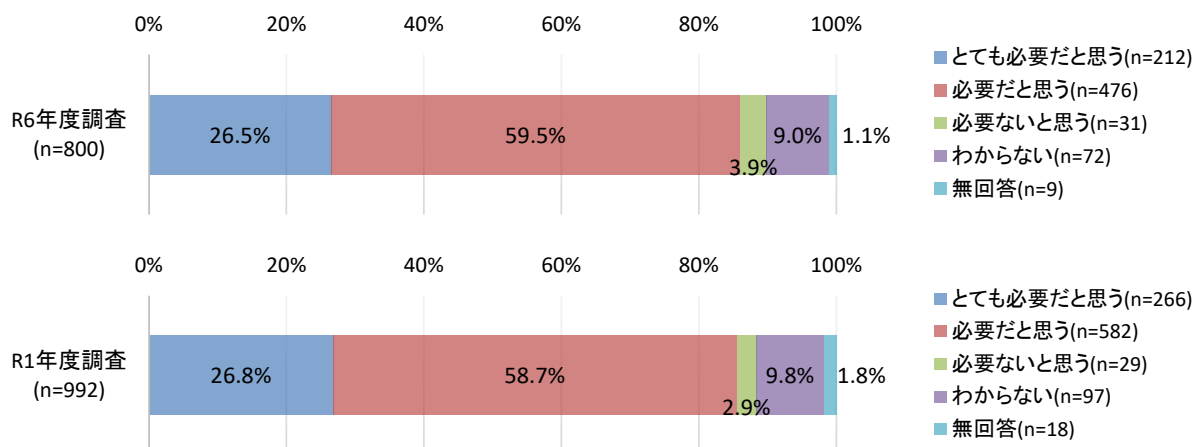
【コメント】

希望する付き合いの程度についてみると、「顔を見ればあいさつをする」が38.4%と最も高くなっている。

年代別にみると、「困ったときに相談や助け合いができる」では50代の19.4%が最も高く、～20代の3.2%が最も低くなっている。「たまに世間話や立ち話をする」では、年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向がある。「付き合うつもりはない」は20代の19.4%が最も高く、80代以上では0%となっている。

近所の人とまったく付き合いのない人の希望する付き合いの程度をみると、「顔を見ればあいさつをする」が48.8%と最も高くなっている。

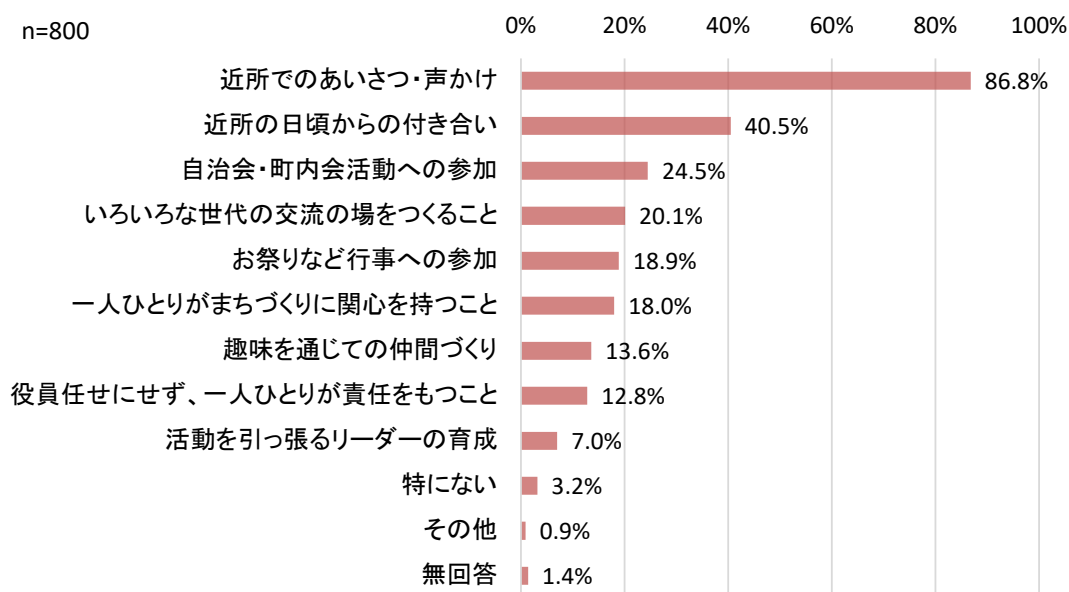
②-3 災害時に地域での助け合いが行われるためには、日頃からの地域での顔の見える関係が築けていることが必要だと思いますか？



【コメント】

災害時に地域での助け合いが行われるためには、日頃からの地域での顔の見える関係が築けていることが「とても必要だと思ふ」は26.5%、「必要だと思ふ」は59.5%であり、令和元年度調査とおおよそ同じ水準となっている。

②-4 日頃からお互いの関係づくりができるためには、どのようなことが必要だと思いますか？

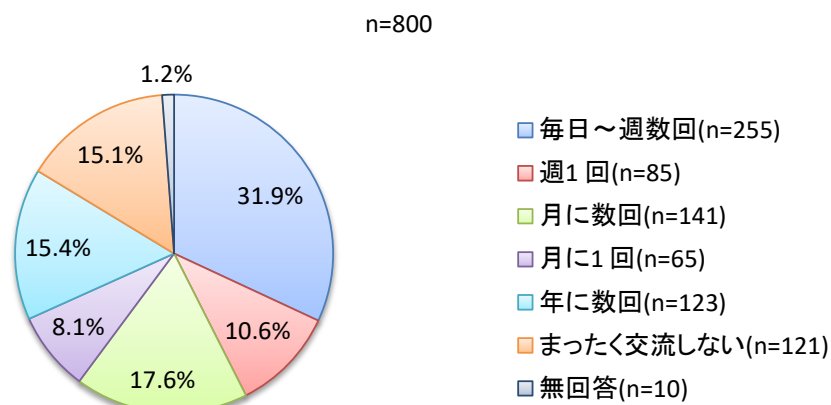


【コメント】

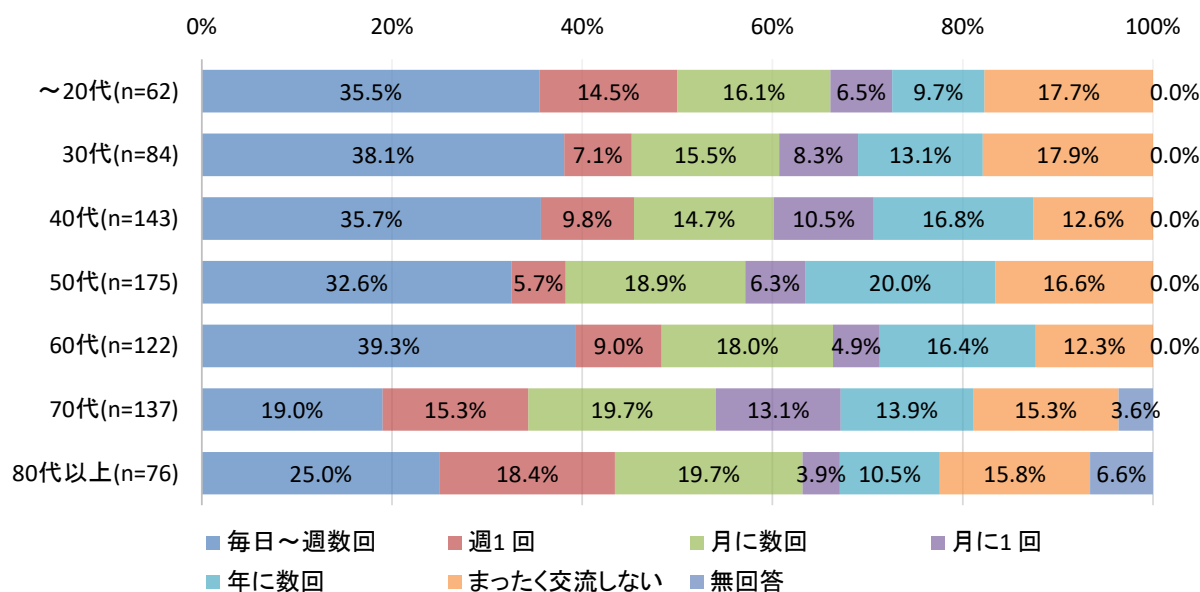
日頃からお互いの関係づくりができるために必要なことで最も多かったのは、「近所でのあいさつ・声かけ」で86.8%、次いで、「近所の日頃からの付き合い」40.5%、「自治会・町内会活動への参加」24.5%となっている。

3. 周囲の方と交流する頻度について

③ 同居家族以外（近所の方や友人、職場の人等）と会うなどして交流する頻度はどれくらいですか？



〇年代ごとの「周囲の方と交流」の程度 クロス分析 [③×年代]



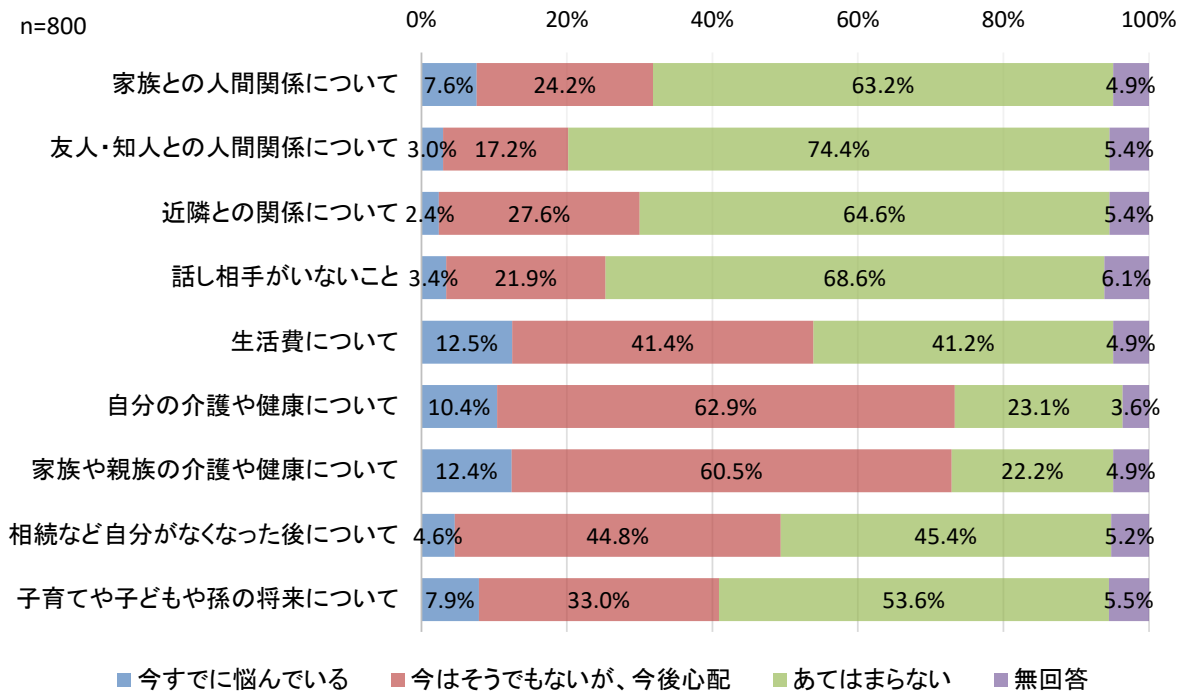
【コメント】

近所や職場の方等の同居家族以外との交流頻度をみると、「毎日～週数回」が31.9%と最も多くなっている。

年代別にみると、「週1回以上」交流がある割合は、～20代が50.0%と最も高く、次いで、60代48.3%、40代45.5%、30代45.2%となっている。一方、「年に数回以下」の割合は、50代が36.6%と最も高く、次いで、30代31.0%、40代29.4%となっている。

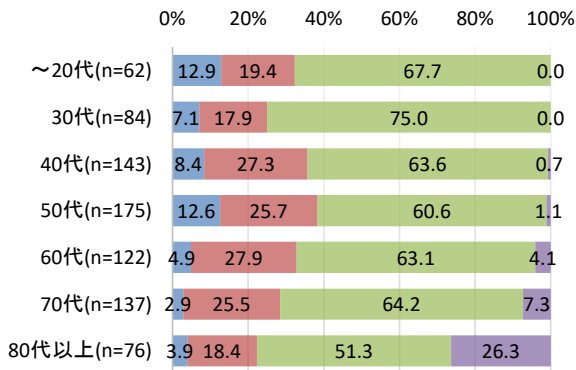
4. 不安や悩みについて

④-1 あなたは現在次のような不安や悩みがありますか？

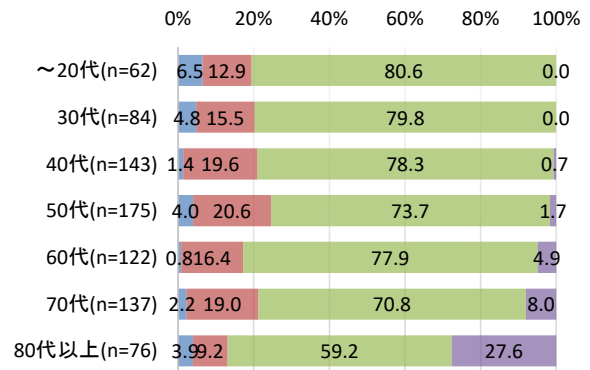


〇年代ごとの不安や悩み クロス分析 [④-1 × 年代]

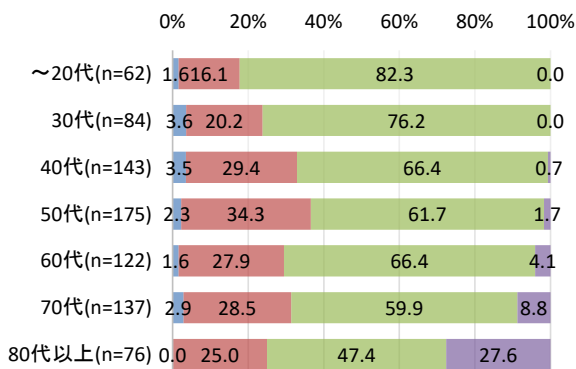
家族との人間関係について



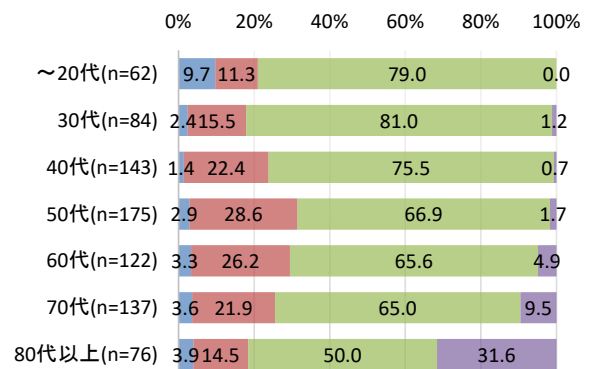
友人・知人との人間関係について



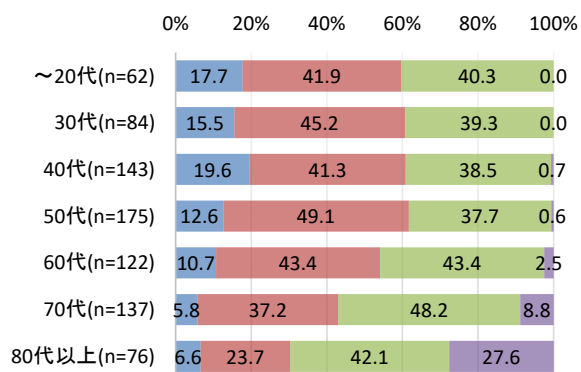
近隣との関係について



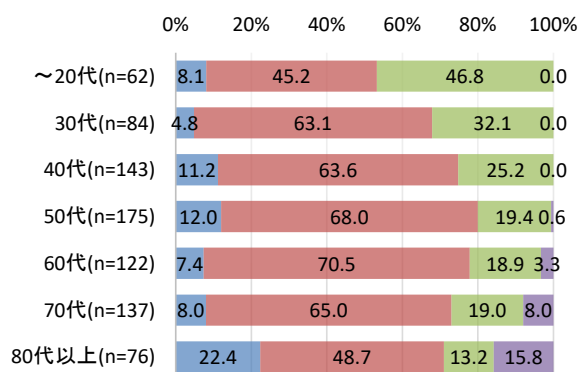
話し相手がないこと



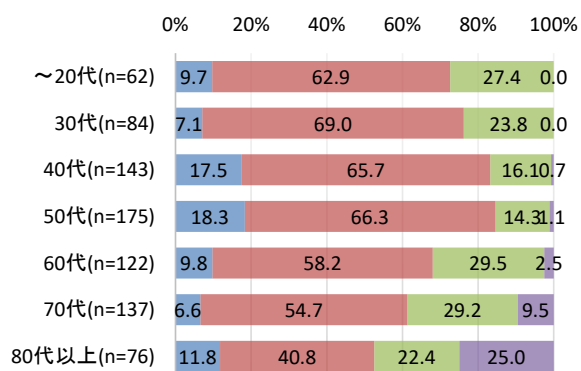
生活費について



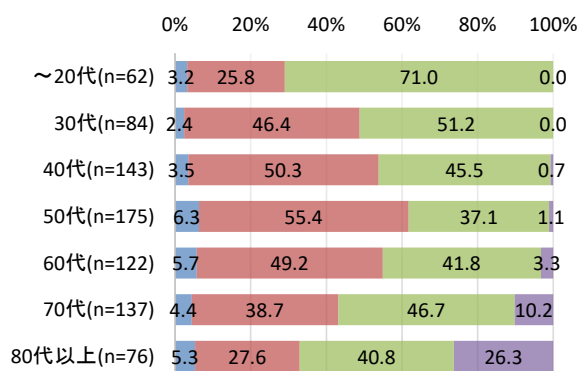
自分の介護や健康について



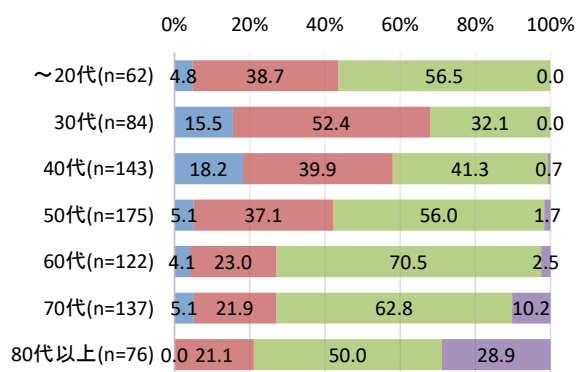
家族や親族の介護や健康について



相続など自分がなくなった後について



子育てや子どもや孫の将来について



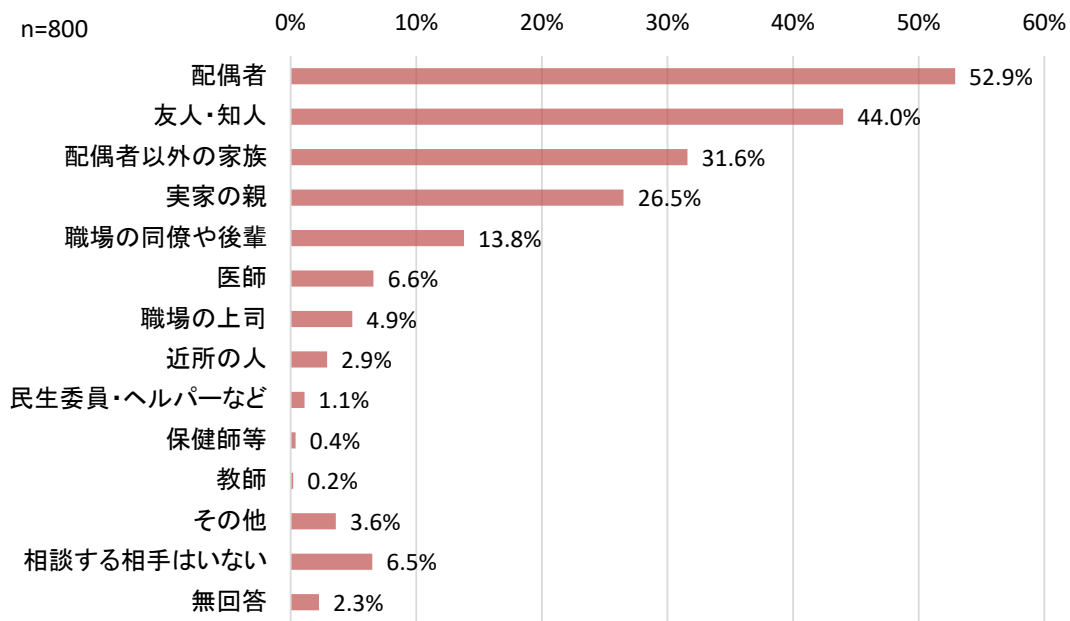
- 今すでに悩んでいる
- 今はそうでもないが、今後心配
- あてはまらない
- 無回答

【コメント】

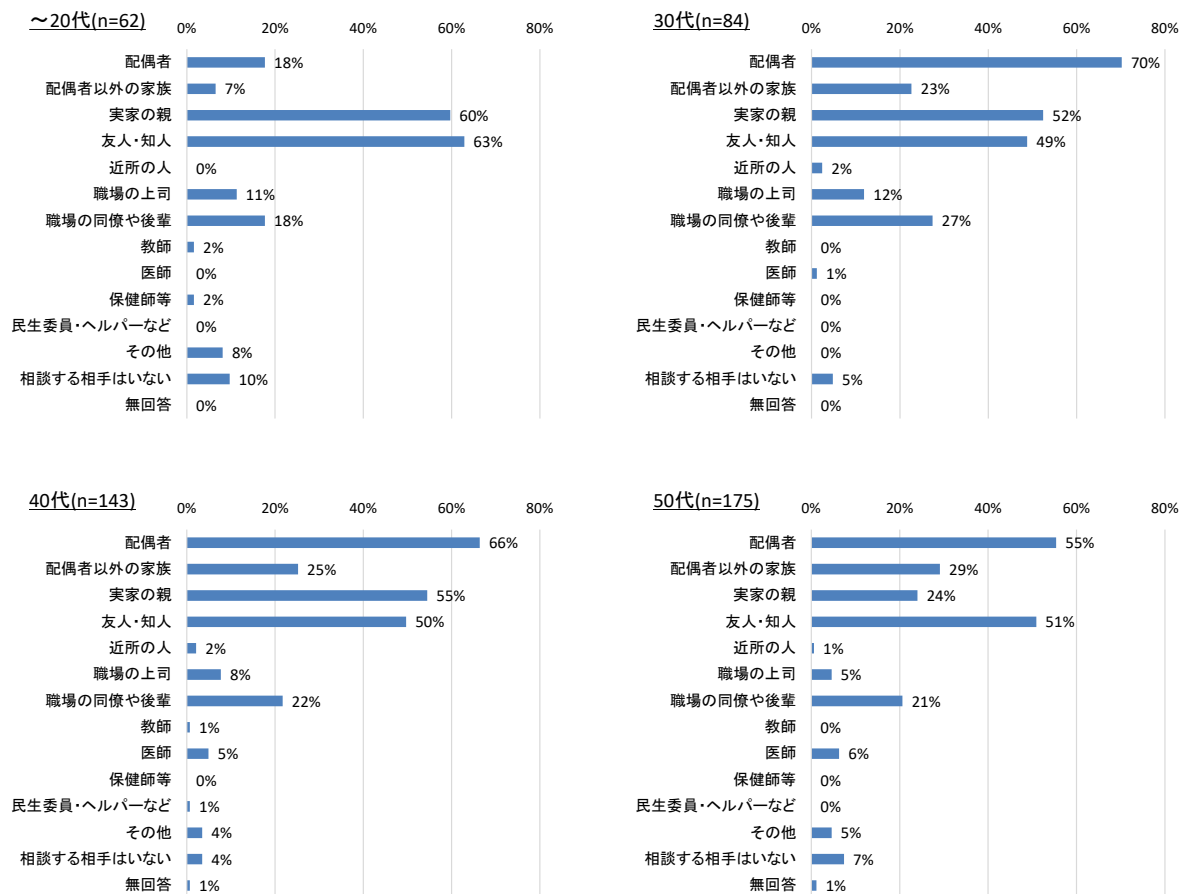
現在感じている不安や悩みについては、「今すでに悩んでいる」項目としては、「生活費について」12.5%、「家族や親族の介護や健康について」12.4%、「自分の介護や健康について」10.4%が高い割合となっている。「今はそうでもないが、今後心配」と感じている項目は、「自分の介護や健康について」62.9%と「家族や親族の介護や健康について」60.5%の2項目が突出している。

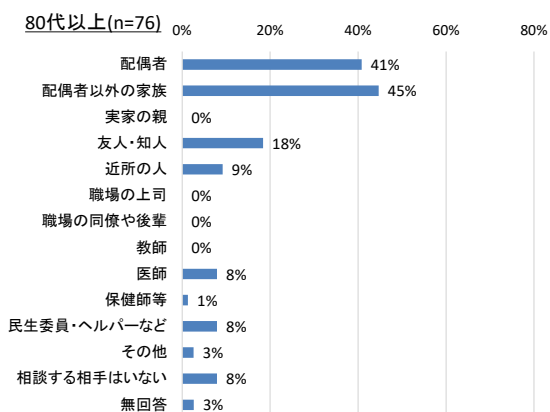
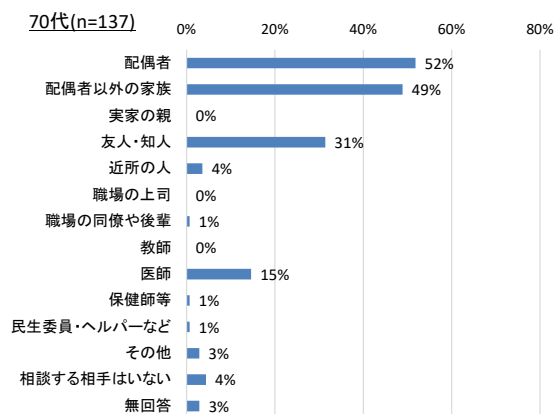
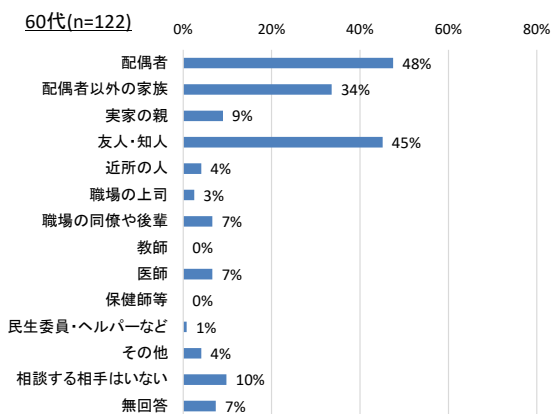
年代別にみると、「生活費について」現在悩んでいる方は40代以下が他の年代より高くなっている。「家族や親族の介護や健康について」では、現在悩んでいる方は40～50代が高く、今後を心配されている方は50代以下が60代以上と比べ高くなっている。「自身の介護や健康について」では、80代以上の方の現在悩んでいる割合が突出して高く、30代から70代は、～20代や80代以上と比べて、今後心配の割合が高くなっている。

④-2 あなたは不安や悩みを主に誰に相談していますか？



〇年代ごとの、不安や悩みの相談先 クロス分析[④-2×年代]





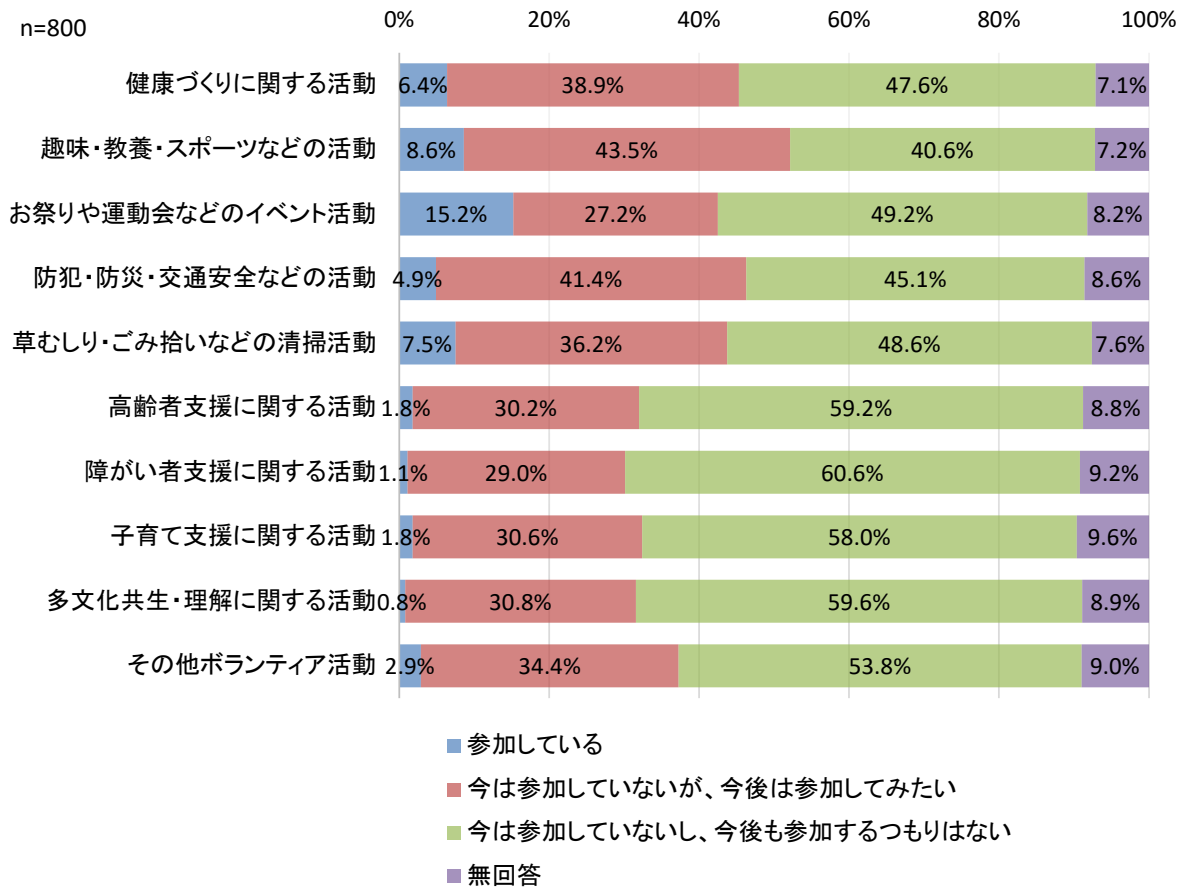
【コメント】

不安や悩みの相談先としては、「配偶者」が 52.9%と最も高く、次いで、「友人・知人」44.0%、「配偶者以外の家族」31.6%となっている。

年代別にみると、～20代では「友人・知人」が最も高く、30代以上では年代が上がるにつれて、「配偶者」の割合が減少し「配偶者以外の家族」の割合が増加する傾向にある。

5. 地域活動への参加状況について

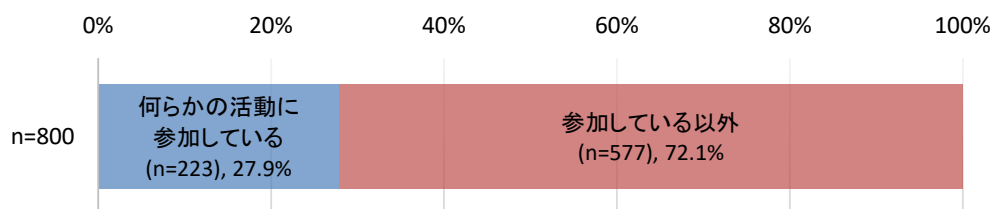
⑤-1 あなたはご近所や区内で行われている次のような活動に参加していますか？



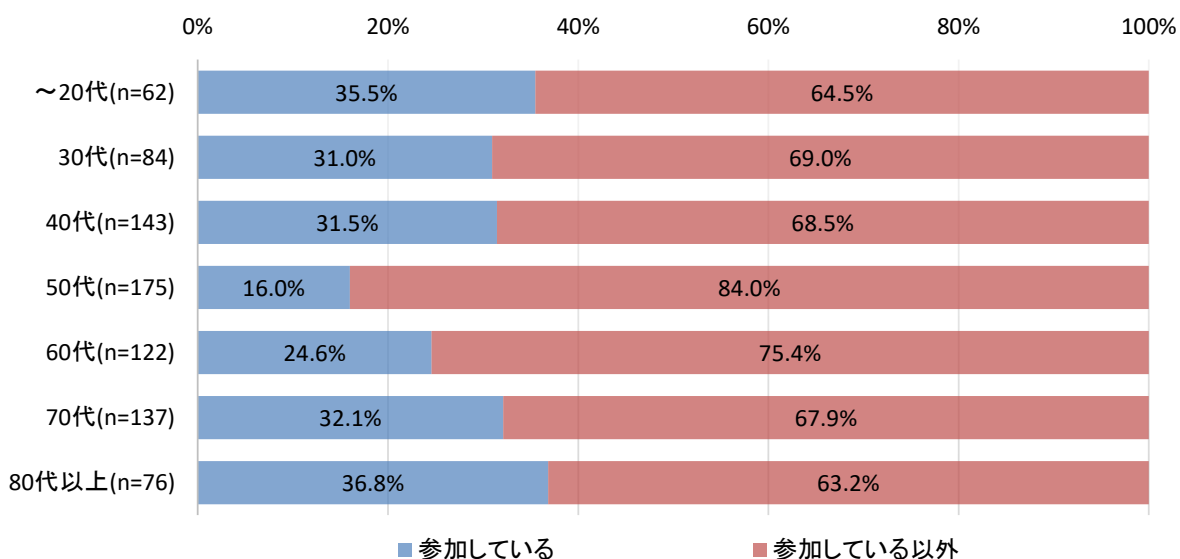
【コメント】

近所や区内で行われる活動の参加状況をみると、「参加している」割合が高い活動は、「お祭りや運動会などのイベント活動」で15.2%と最も高くなっている。「今は参加していないが、今後は参加してみたい」活動としては、「趣味・教養・スポーツなどの活動」が43.5%と最も高く、次いで、「防犯・防災・交通安全などの活動」41.4%、「健康づくりに関する活動」38.9%となっている。

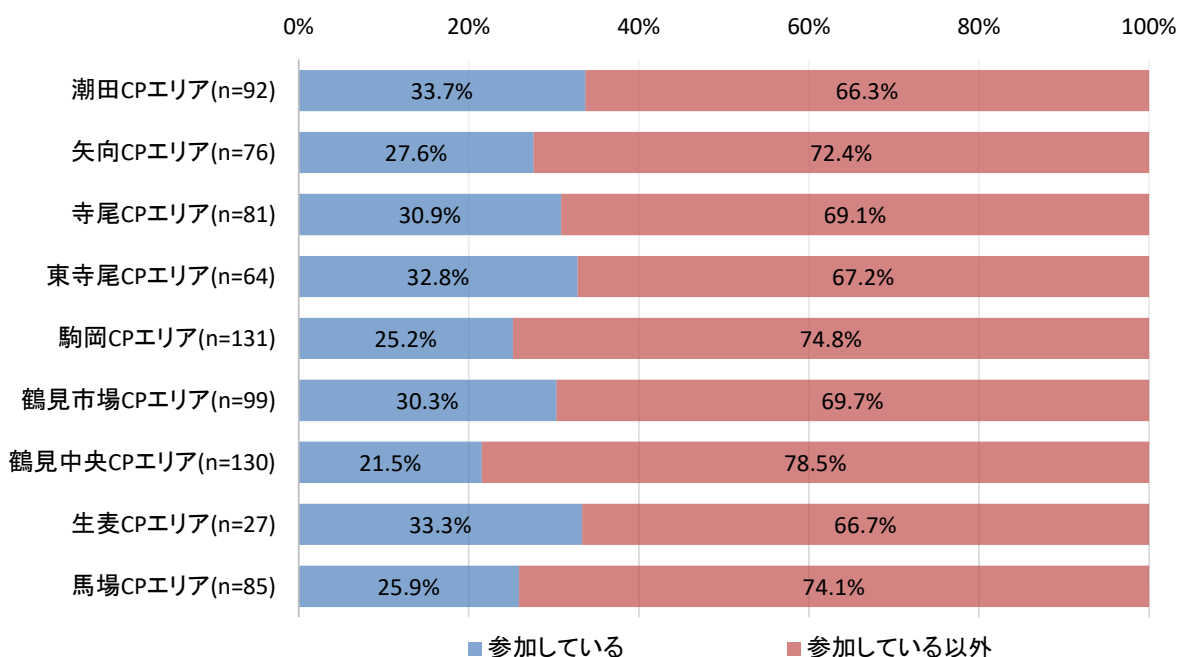
○地域活動への参加状況



○年代ごとの「地域活動」参加状況 クロス分析[⑤-1「参加状況」×年代]



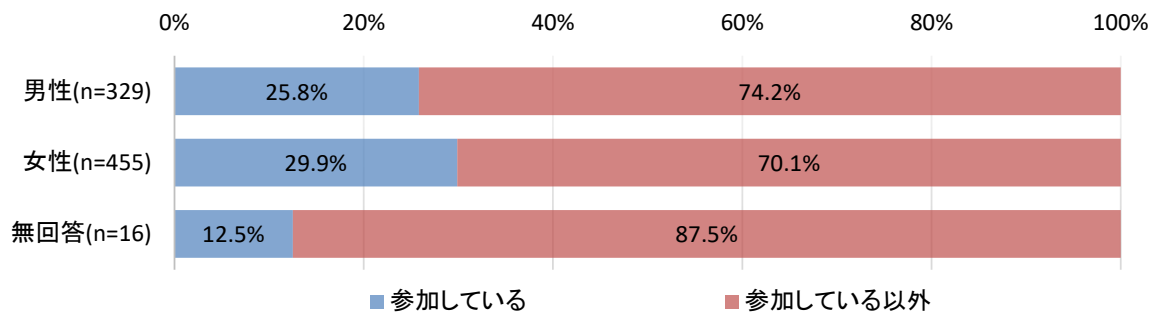
○【参考】9エリアごとの地域活動への参加状況 クロス分析[⑤-1「参加状況」×居住エリア]



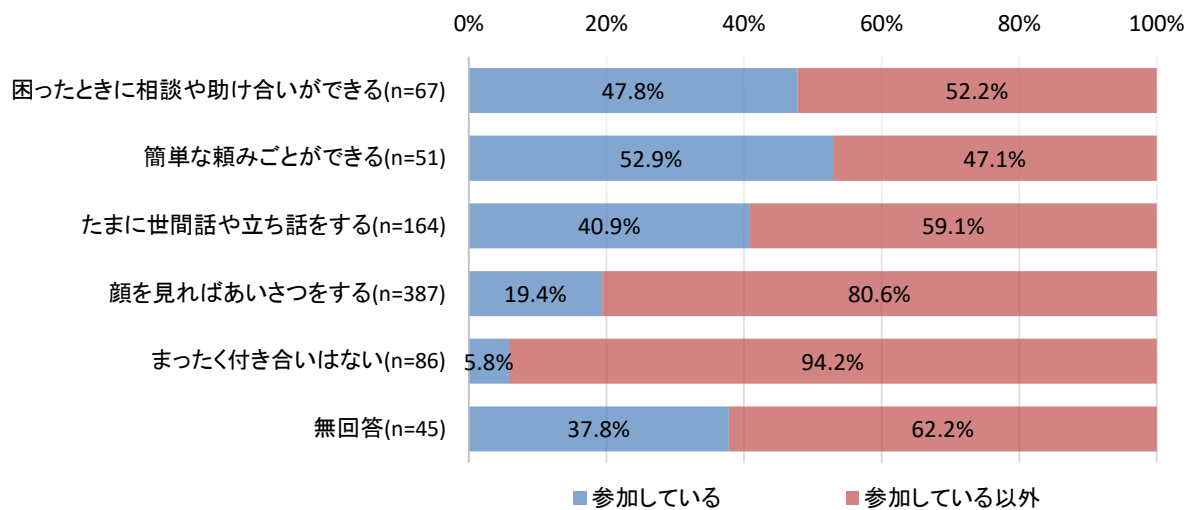
【コメント】

何らかの活動に参加している人の割合は、27.9%となっている。年代別にみると、何らかの活動に「参加している」割合が最も高いのは80代以上36.8%で、次いで、～20代35.5%、70代32.1%となっている。50代は16.0%と最も低くなっている。居住エリア別にみると、潮田CPエリア33.7%、生麦CPエリア33.3%、東寺尾CPエリア32.8%で、他のエリアと比べ高くなっている。

○性別ごとの「地域活動」参加状況 クロス分析[⑤-1「参加状況」×性別]



○近所の人との付き合いごとの「地域活動」参加状況 クロス分析[⑤-1「参加状況」×②-1]

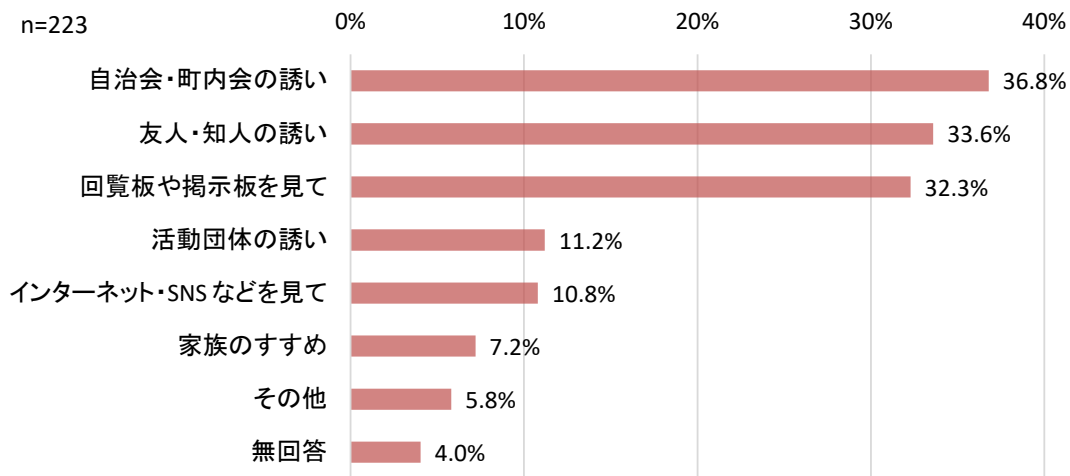


【コメント】

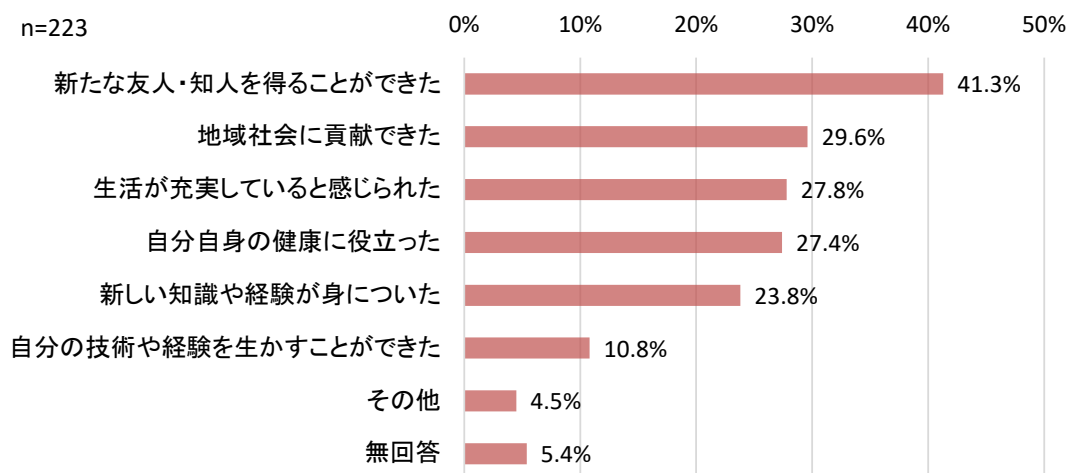
何らかの活動に参加しているか性別にみると、「女性」29.9%、「男性」25.8%と女性の割合が高くなっている。

困ったときに相談や助け合いができる、簡単な頼みごとができる等、比較的近所の人と親密な関係にある方は、地域活動に参加している割合も5割前後となっている。

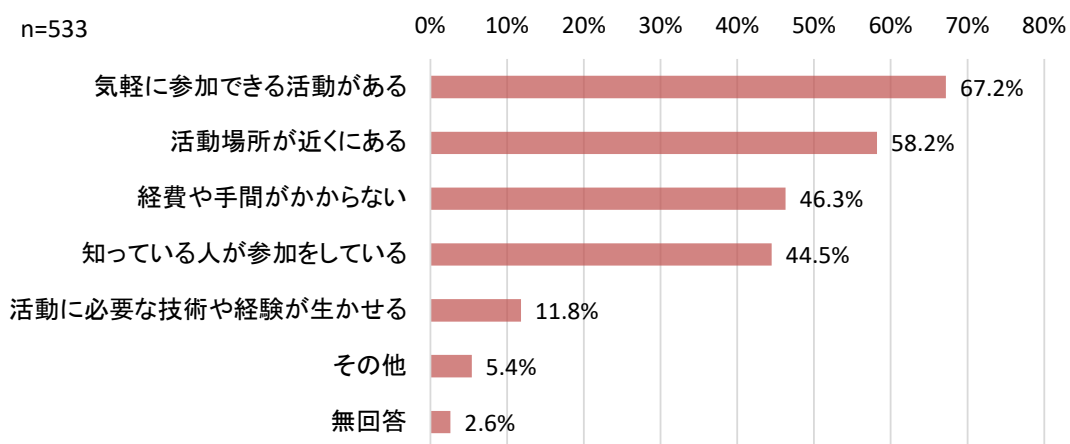
⑤-2 活動に参加したきっかけは何ですか？（⑤-1で、「1.参加している」をひとつでも選択した人）



⑤-3 活動に参加してよかったと思うことは何ですか？（⑤-1で、「1.参加している」をひとつでも選択した人）



⑤-4 どのような状況であれば活動に参加しやすいですか？（⑤-1 で、「2. 今は参加していないが、
今後は参加してみたい」をひとつでも選択した人）



【コメント】

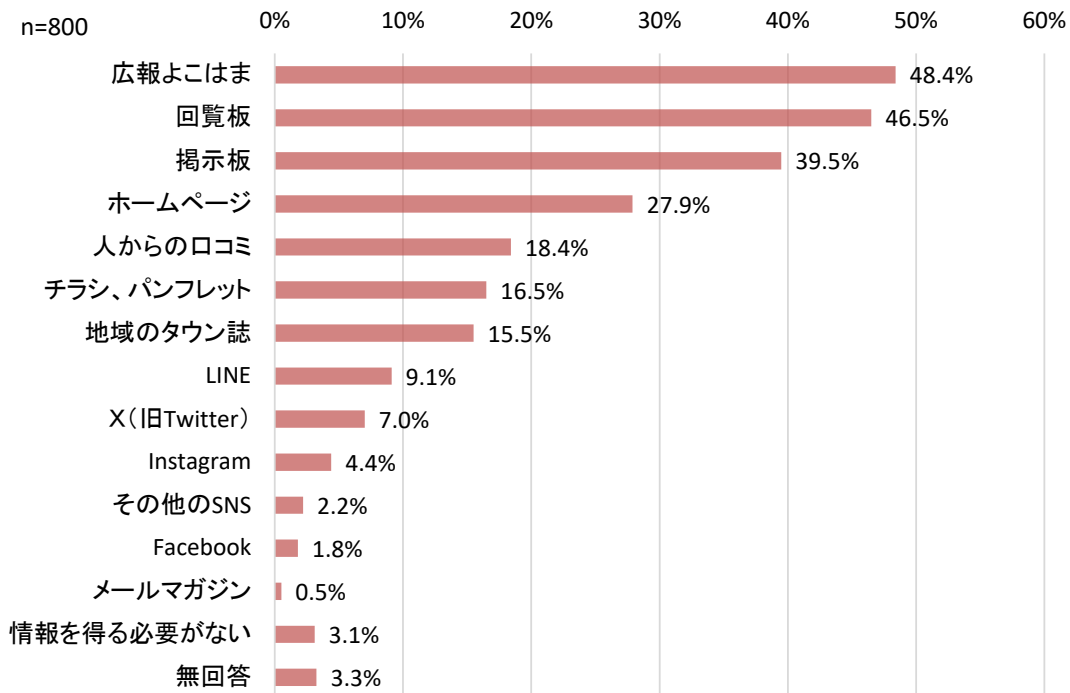
活動に参加したきっかけとしては、「自治会・町内会の誘い」が 36.8%と最も高く、次いで、「友人・知人の誘い」33.6%、「回覧板や掲示板を見て」32.3%となっている。

参加してよかったこととしては、「新たな友人・知人を得ることができた」が 41.3%と最も高く、次いで「地域社会に貢献できた」29.6%となっている。

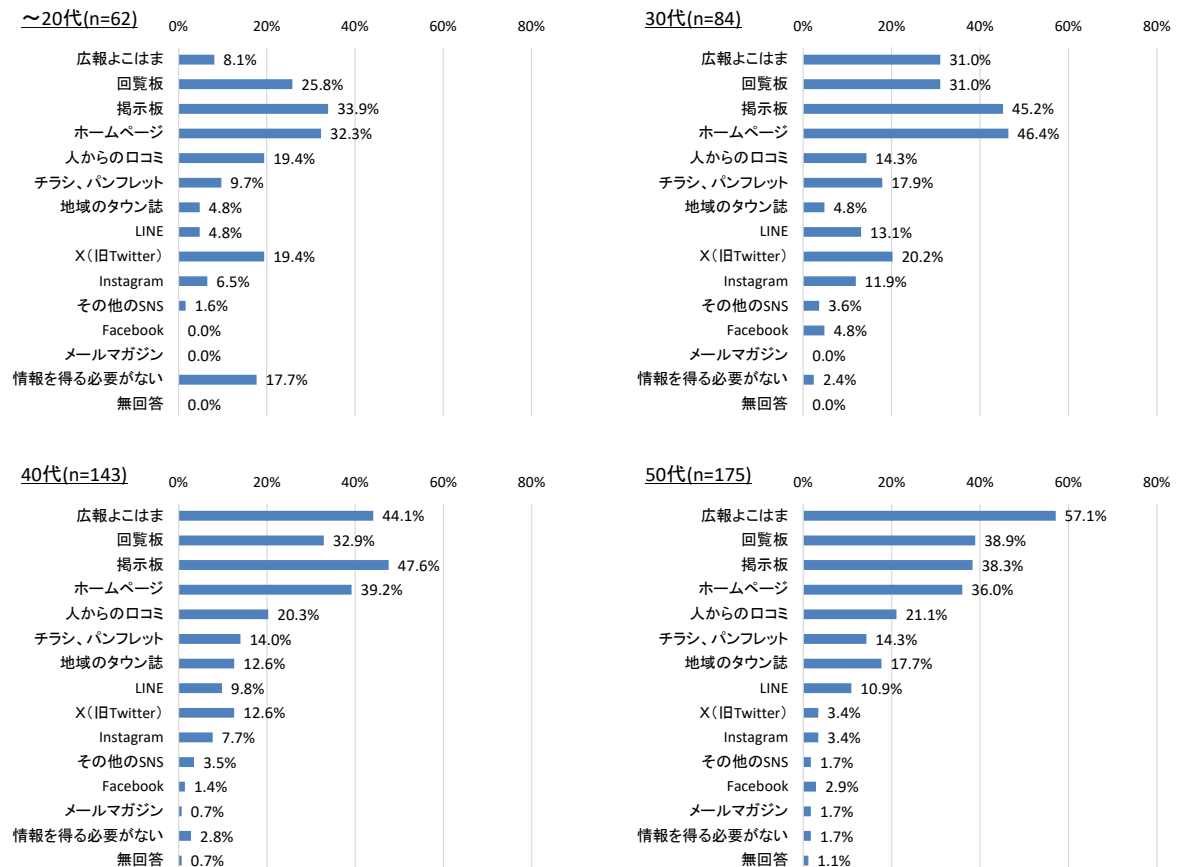
どのような状況であれば活動に参加しやすいかということについては、「気軽に参加できる活動がある」が 67.2%で最も高く、次いで「活動場所が近くにある」58.2%となっている。

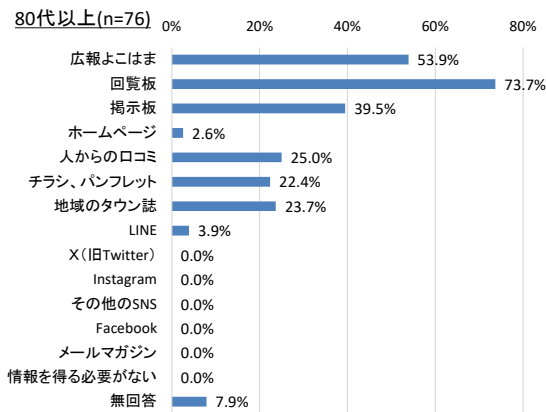
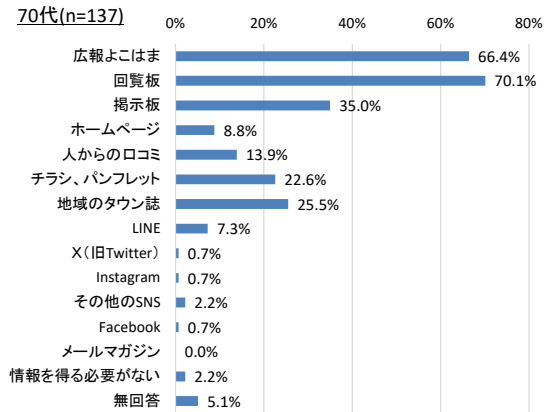
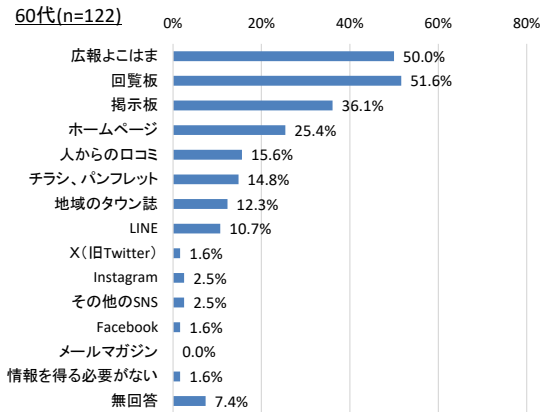
6. 地域の情報を得る方法について

⑥ 地域の情報を得る方法として、今、利用しているものは何ですか？



〇年代ごとの「地域の情報を得る方法」 クロス分析 [⑥×年代]





○【参考】9エリアごとの地域の情報を得る方法の割合 クロス分析 [⑥×居住エリア]

	n=	広報よこはま	回覧板	掲示板	ホームページ	人からの口コミ	チラシ、パンフレット	地域のタウン誌	LINE	X(旧Twitter)	Instagram	その他のSNS	Facebook	メールマガジン	情報を得る必要がない	無回答
全体	800	48.4%	46.5%	39.5%	27.9%	18.4%	16.5%	15.5%	9.1%	7.0%	4.4%	2.2%	1.8%	0.5%	3.1%	3.3%
潮田	92	45.7%	56.5%	46.7%	15.2%	17.4%	20.7%	15.2%	6.5%	7.6%	6.5%	1.1%	3.3%	0.0%	2.2%	5.4%
矢向	76	36.8%	38.2%	52.6%	32.9%	21.1%	17.1%	14.5%	18.4%	6.6%	2.6%	1.3%	3.9%	2.6%	3.9%	3.9%
寺尾	81	45.7%	55.6%	33.3%	21.0%	21.0%	16.0%	22.2%	13.6%	4.9%	6.2%	3.7%	0.0%	0.0%	3.7%	4.9%
東寺尾	64	50.0%	51.6%	37.5%	32.8%	20.3%	18.8%	15.6%	6.2%	6.2%	4.7%	1.6%	3.1%	0.0%	1.6%	3.1%
駒岡	131	55.7%	51.1%	32.8%	30.5%	16.8%	12.2%	13.0%	5.3%	8.4%	7.6%	3.8%	0.8%	0.8%	3.1%	2.3%
鶴見市場	99	47.5%	47.5%	44.4%	30.3%	19.2%	17.2%	17.2%	10.1%	5.1%	2.0%	1.0%	1.0%	1.0%	3.0%	3.0%
鶴見中央	130	48.5%	23.8%	33.1%	34.6%	17.7%	14.6%	11.5%	8.5%	7.7%	3.8%	2.3%	0.8%	0.0%	2.3%	1.5%
生麦	27	51.9%	37.0%	40.7%	33.3%	7.4%	18.5%	18.5%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	3.7%	0.0%
馬場	85	51.8%	60.0%	45.9%	24.7%	18.8%	16.5%	17.6%	7.1%	8.2%	2.4%	2.4%	2.4%	0.0%	5.9%	2.4%

※各エリアの割合が、エリア全体に占める割合より大きい場合、緑色に塗りつぶしています。

【コメント】

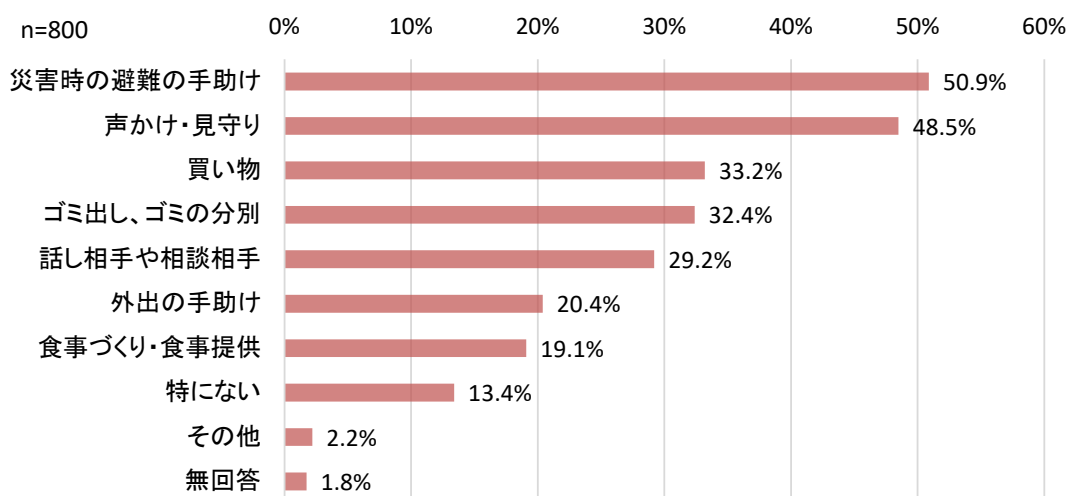
地域の情報を得る方法として最も多かったのは「広報よこはま」で48.4%、次いで「回覧板」46.5%、「掲示板」39.5%となっている。

年代別にみると、～20代と30代では「掲示板」と「ホームページ」の割合が他の方法より高く、50代では「広報よこはま」、60代以上では「回覧板」の割合が最も高くなっている。

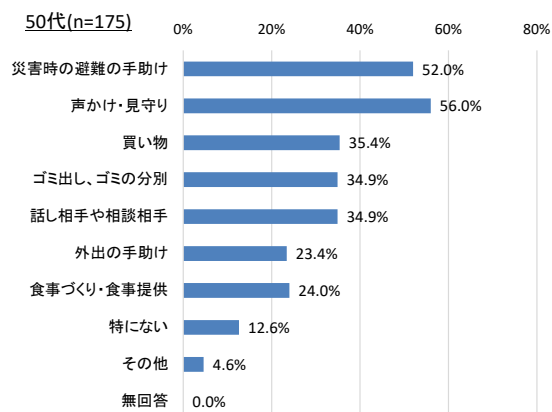
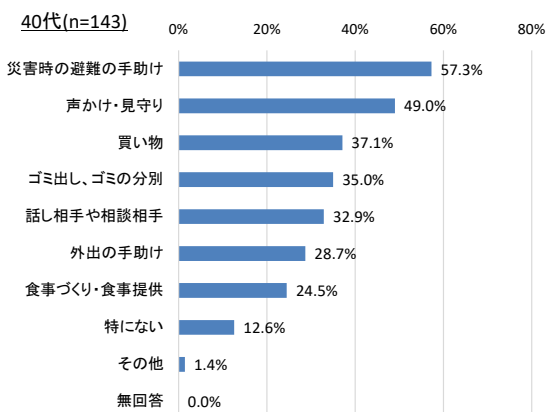
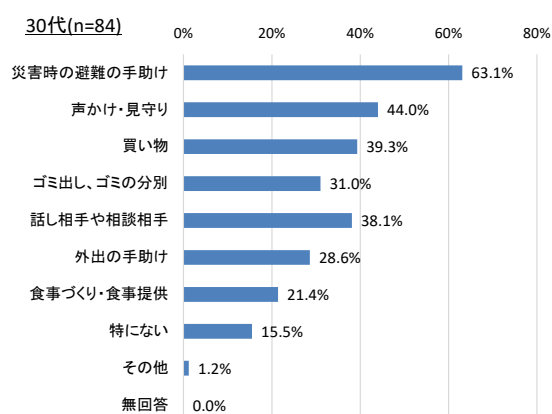
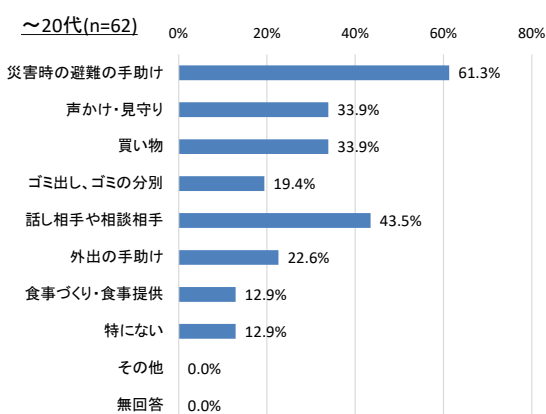
居住エリアごとにみると、「広報よこはま」による情報収集の割合が高いのは、駒岡CPエリア、「回覧板」については馬場CPエリア、「掲示板」では矢向CPエリアが高くなっている。

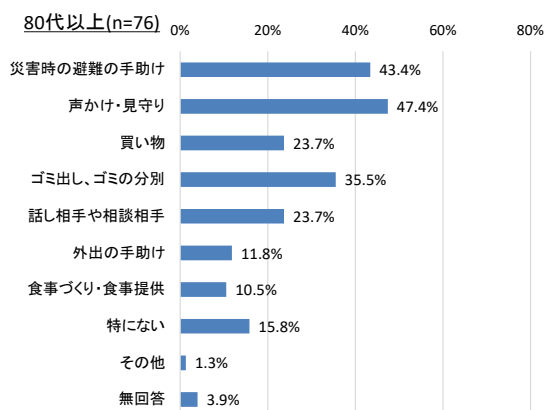
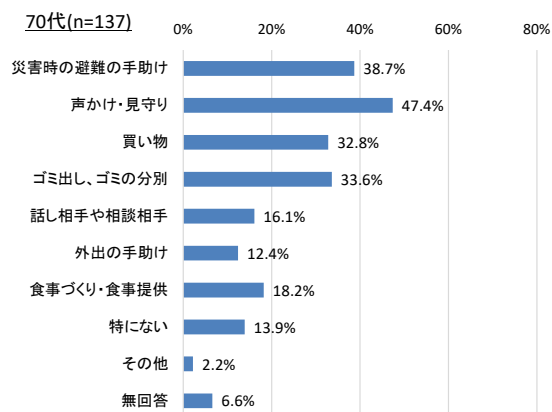
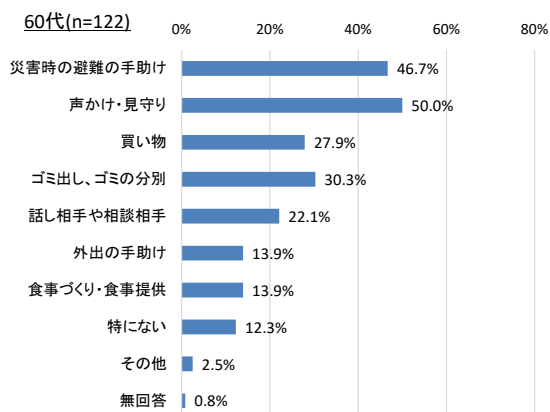
7. 地域での必要な支援について

⑦-1 あなたが高齢や病気などで日常生活が不自由になった場合、近所で手助けしてほしいと思うことは、どのようなことですか？



〇年代ごとの、近所で手助けしてほしい内容 クロス分析[⑦-1×年代]



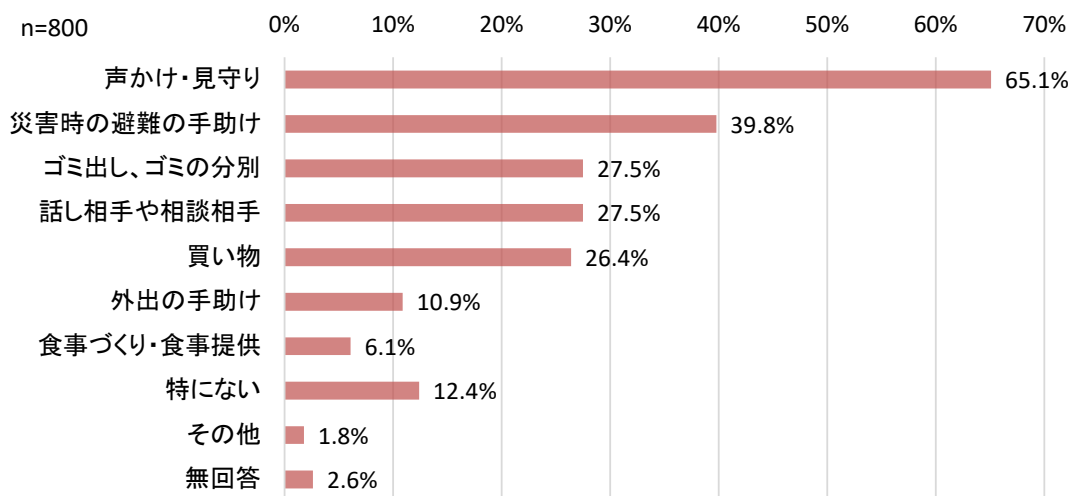


【コメント】

日常生活が不自由になった場合に近所で手助けをしてもらいたいことで最も多かったものは、「災害時の避難の手助け」で50.9%、次いで「声かけ・見守り」48.5%となっている。

年代別にみると、～20代、30代の「災害時の避難の手助け」、60代の「声かけ・見守り」が高くなっている。

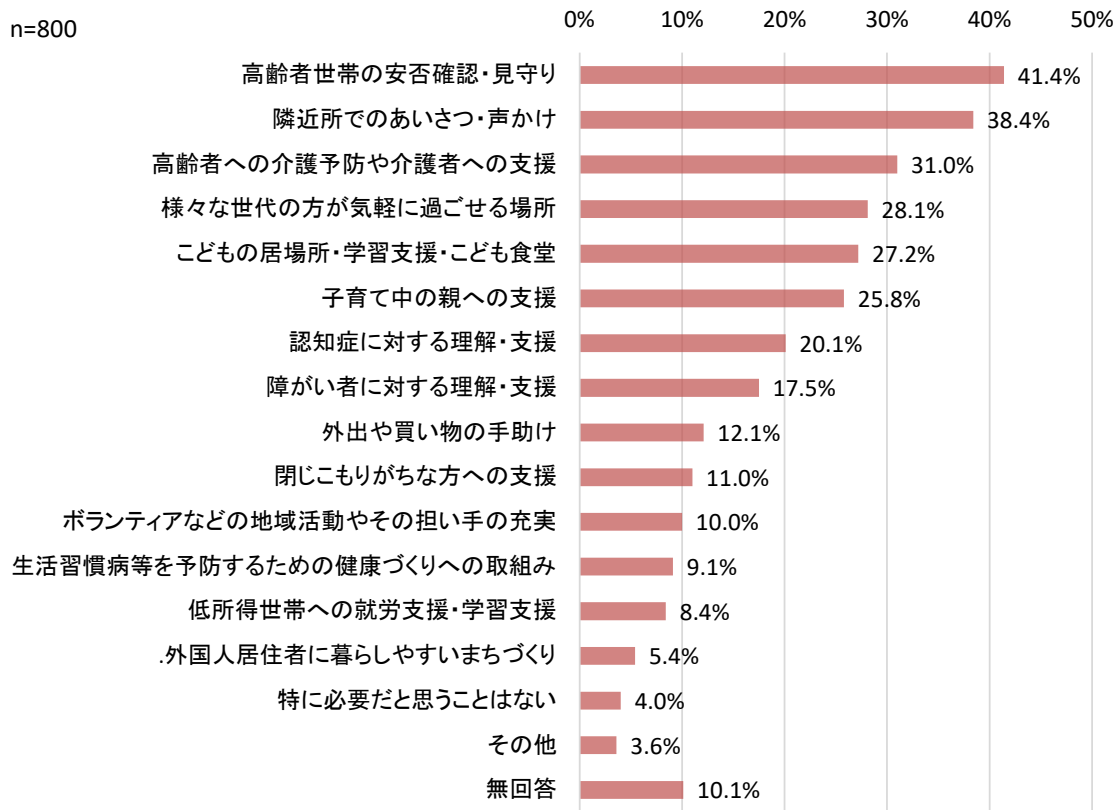
⑦-2 近所で高齢者や障害のある人の介助・介護や子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますか？



【コメント】

近所の困っている人にどのような手助けができるかということについてみると、「声かけ・見守り」が65.1%と最も多く、次いで「災害時の避難の手助け」39.8%となっている。

⑦-3 お住まいの地域がもっと住みやすくなるために、どのようなことが今後充実するとよいと思いますか？



○【参考】 9エリアごとの地域が住みやすくなるために充実するとよいと思う内容 クロス分析
 [⑦-3×居住エリア]

	n=	高齢者世帯の安否確認・見守り	隣近所でのあいさつ・声かけ	高齢者への介護予防や介護者への支援	様々な世代の方が気軽に過ごせる場所	こどもの居場所・学習支援・子ども食堂	子育て中の親への支援	認知症に対する理解・支援	障がい者に対する理解・支援	外出や買い物の手助け	閉じこもりがちの方への支援	ボランティアなどの担い手の充実	生活習慣病等を予防するための健康づくりへの取組み	低所得世帯への就労支援	外国人居住者に暮らしやすいまちづくり	特に必要だと思うことはない	その他	無回答
全体	800	41.4%	38.4%	31.0%	28.1%	27.2%	25.8%	20.1%	17.5%	12.1%	11.0%	10.0%	9.1%	8.4%	5.4%	4.0%	3.6%	10.1%
潮田	92	39.1%	41.3%	25.0%	25.0%	17.4%	22.8%	21.7%	16.3%	8.7%	9.8%	8.7%	10.9%	10.9%	3.3%	5.4%	8.7%	12.0%
矢向	76	40.8%	39.5%	27.6%	30.3%	28.9%	27.6%	11.8%	13.2%	13.2%	11.8%	15.8%	7.9%	6.6%	5.3%	5.3%	3.9%	10.5%
寺尾	81	38.3%	38.3%	32.1%	27.2%	25.9%	28.4%	18.5%	12.3%	12.3%	6.2%	6.2%	6.2%	7.4%	0.0%	4.9%	0.0%	11.1%
東寺尾	64	46.9%	39.1%	40.6%	28.1%	23.4%	20.3%	34.4%	21.9%	10.9%	18.8%	9.4%	9.4%	14.1%	4.7%	3.1%	4.7%	10.9%
駒岡	131	44.3%	41.2%	27.5%	25.2%	26.0%	23.7%	18.3%	19.1%	9.9%	18.3%	12.2%	9.9%	13.0%	3.1%	3.8%	3.1%	6.9%
鶴見市場	99	49.5%	31.3%	34.3%	28.3%	33.3%	25.3%	21.2%	14.1%	11.1%	9.1%	10.1%	11.1%	6.1%	14.1%	4.0%	1.0%	13.1%
鶴見中央	130	35.4%	31.5%	30.0%	30.0%	36.9%	28.5%	20.8%	20.8%	14.6%	7.7%	10.8%	7.7%	4.6%	3.8%	3.8%	5.4%	6.2%
生麦	27	33.3%	40.7%	29.6%	29.6%	33.3%	33.3%	18.5%	14.8%	3.7%	0.0%	7.4%	7.4%	7.4%	7.4%	0.0%	3.7%	14.8%
馬場	85	36.5%	43.5%	36.5%	31.8%	22.4%	29.4%	17.6%	18.8%	15.3%	9.4%	7.1%	9.4%	5.9%	8.2%	3.5%	2.4%	14.1%

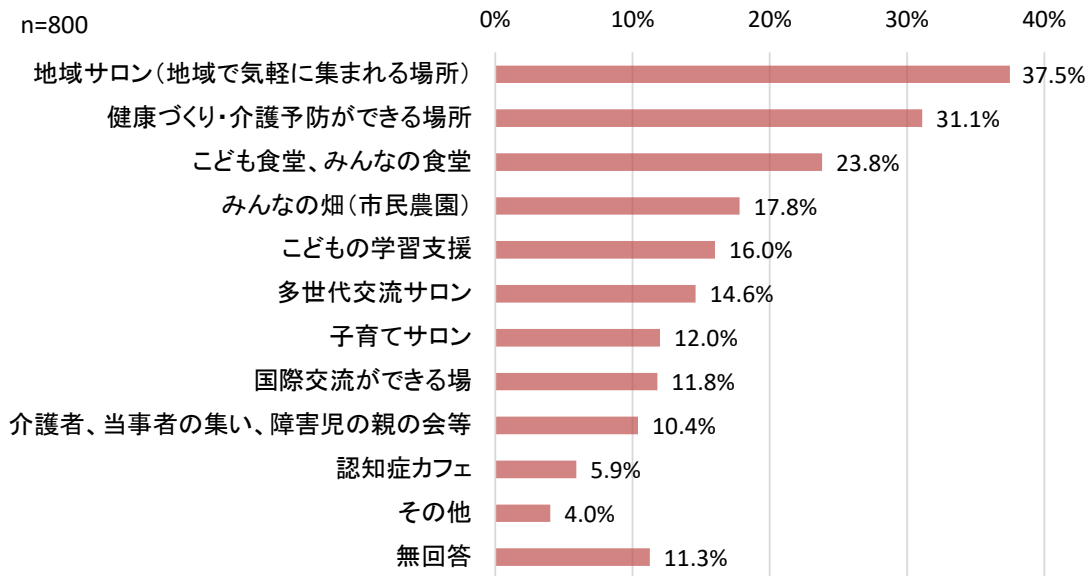
※各エリアの割合が、エリア全体に占める割合より大きい場合、緑色に塗りつぶしています。

【コメント】

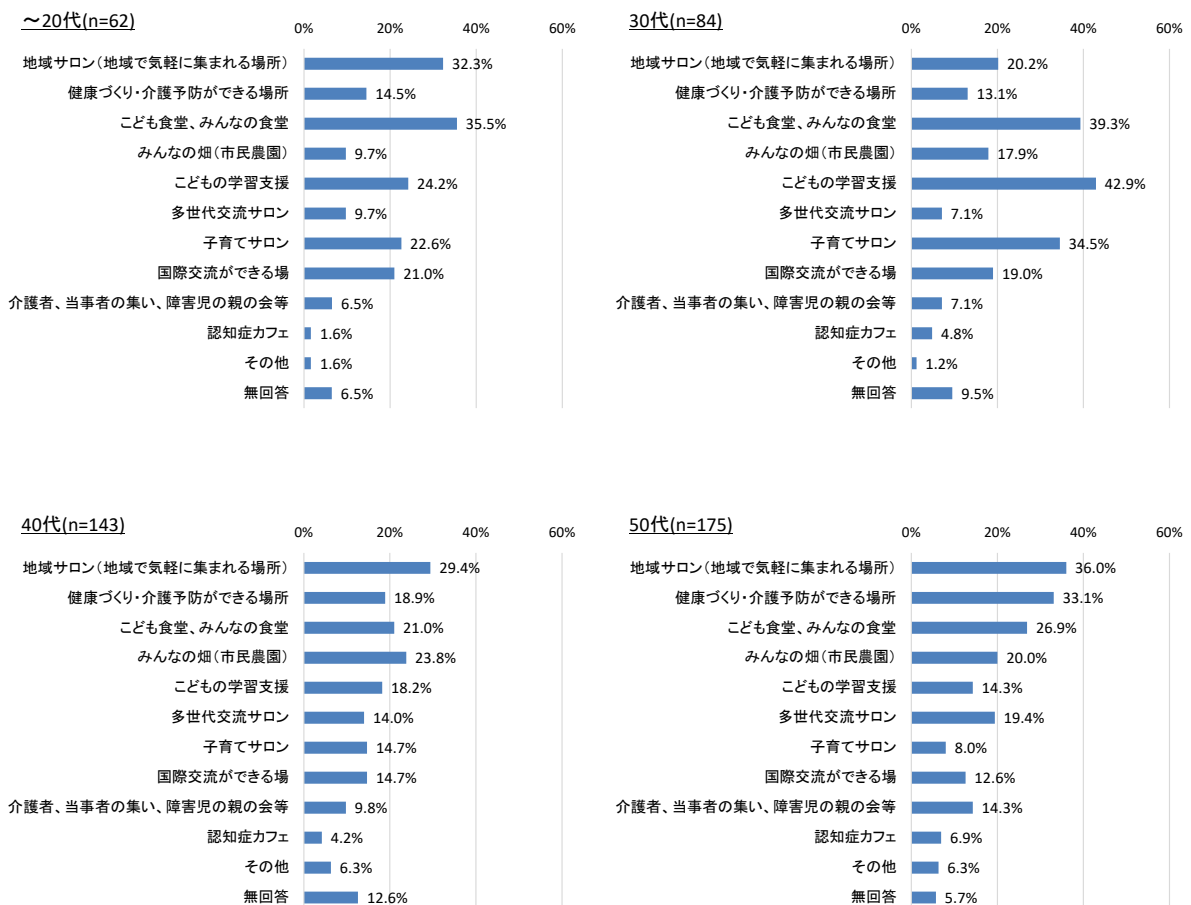
住みよい地域となるために今後充実するとよいことについてみると、「高齢者世帯の安否確認・見守り」が41.4%で最も高く、次いで「隣近所でのあいさつ・声かけ」38.4%、「高齢者への介護予防や介護者への支援」31.0%となっている。

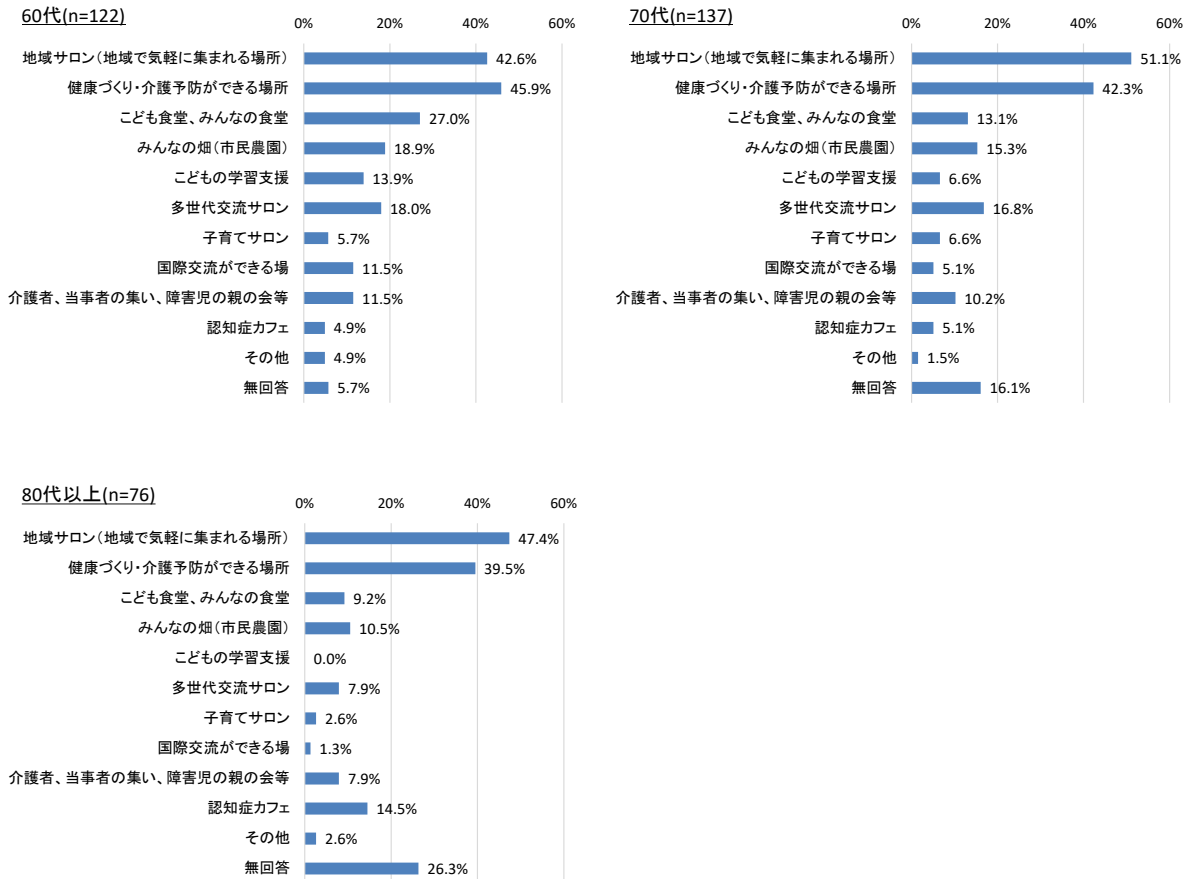
居住エリア別にみると、「東寺尾」「鶴見市場」CP エリアにおいて高齢者に関する項目の割合が高く、「矢向」「鶴見中央」「生麦」CP エリアにおいて子育てに関する項目の割合が高くなっている。

⑦-4 地域の中で、あったらいいなと思う交流の場について教えてください。



〇年代ごとの「あったらいいなと思う交流の場」の内容 クロス分析[⑦-4×年代]





○【参考】9エリアごとのあったらいいなと思う交流の場の内容 クロス分析 [⑦-4×居住エリア]

	n=	地域に気軽に集まれる(地域)	健康づくり・介護予防ができる場所	こども食堂、みんなの畑(市民農園)	こどもの学習支援	多世代交流サロン	子育てサロン	国際交流ができる場	介護者、障害児の親の会等の集い	認知症カフェ	その他	無回答	
全体	800	37.5%	31.1%	23.8%	17.8%	16.0%	14.6%	12.0%	11.8%	10.4%	5.9%	4.0%	11.3%
潮田	92	32.6%	32.6%	14.1%	15.2%	10.9%	12.0%	6.5%	6.5%	9.8%	4.3%	8.7%	14.1%
矢向	76	36.8%	28.9%	28.9%	15.8%	17.1%	18.4%	7.9%	11.8%	6.6%	5.3%	6.6%	13.2%
寺尾	81	35.8%	25.9%	25.9%	21.0%	17.3%	11.1%	13.6%	8.6%	7.4%	3.7%	2.5%	14.8%
東寺尾	64	37.5%	34.4%	18.8%	12.5%	17.2%	15.6%	14.1%	12.5%	23.4%	12.5%	1.6%	10.9%
駒岡	131	42.7%	31.3%	20.6%	22.9%	13.0%	13.0%	10.7%	13.7%	7.6%	3.1%	4.6%	9.9%
鶴見市場	99	40.4%	33.3%	22.2%	16.2%	21.2%	22.2%	17.2%	14.1%	9.1%	7.1%	1.0%	11.1%
鶴見中央	130	28.5%	23.1%	30.8%	20.0%	20.8%	16.9%	14.6%	12.3%	10.0%	6.2%	5.4%	7.7%
生麦	27	29.6%	40.7%	25.9%	22.2%	22.2%	14.8%	22.2%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
馬場	85	50.6%	38.8%	28.2%	11.8%	10.6%	9.4%	9.4%	16.5%	14.1%	9.4%	1.2%	10.6%

※各エリアの割合が、エリア全体に占める割合より大きい場合、緑色に塗りつぶしています。

【コメント】

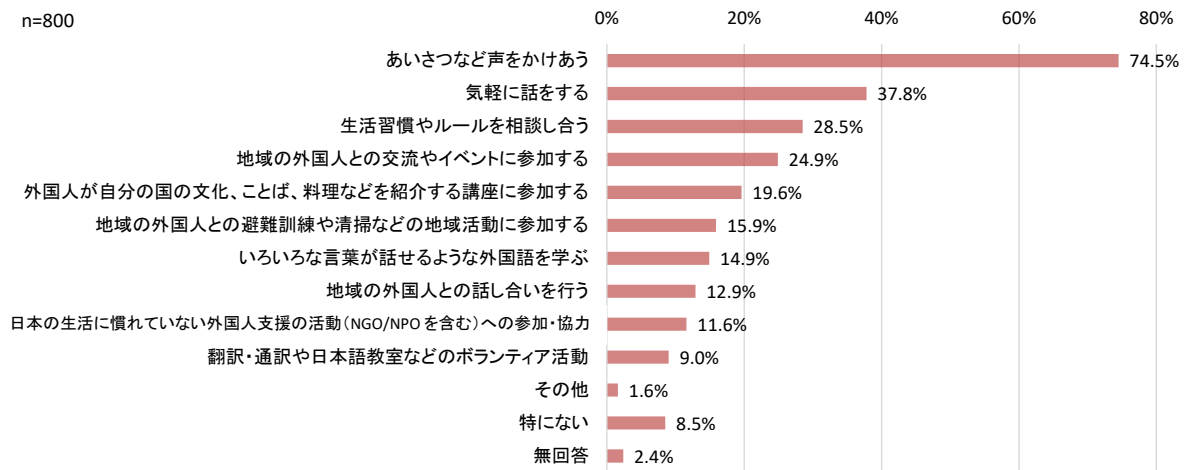
地域の中であつたらいいなと思う交流の場についてみると、「地域サロン（地域で気軽に集まれる場所）」が37.5%で最も高く、次いで「健康づくり・介護予防ができる場所」31.1%、「子ども食堂、みんなの食堂」23.8%となっている。

年代別にみると、～20代は「子ども食堂、みんなの食堂」の割合が高く、30代では「こどもの学習支援」、60代では「健康づくり・介護予防ができる場所」、40代、50代、70代以上では「地域サロン」が最も高くなっている。

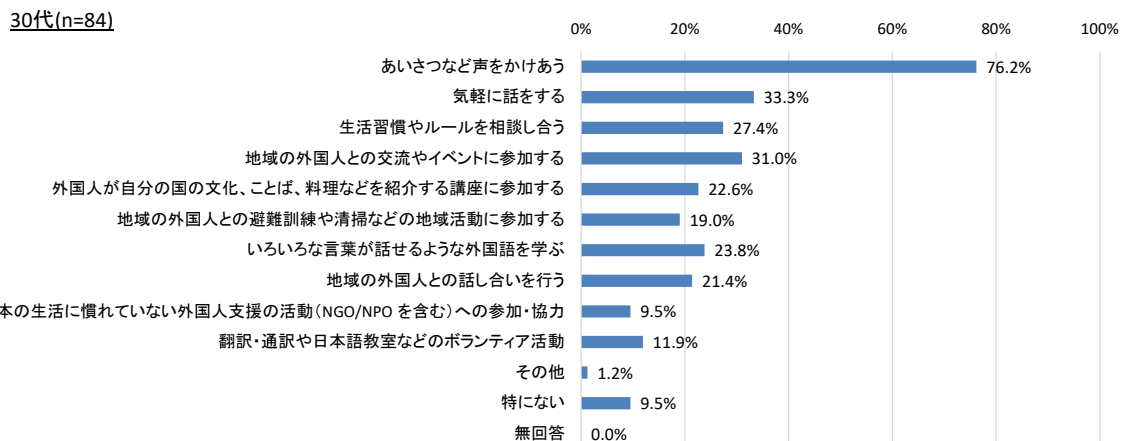
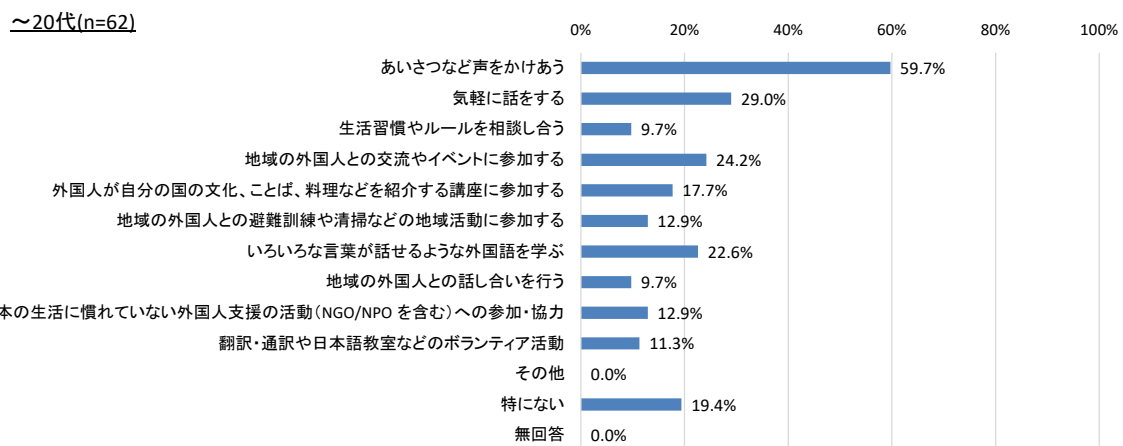
居住エリア別にみると、「地域サロン」では馬場CPエリアの割合が高く、「健康づくり・介護予防ができる場所」では生麦CPエリアが、「子ども食堂、みんなの食堂」では鶴見中央CPエリアが高くなっている。

8. 誰もが安心して暮らせる地域づくりについて

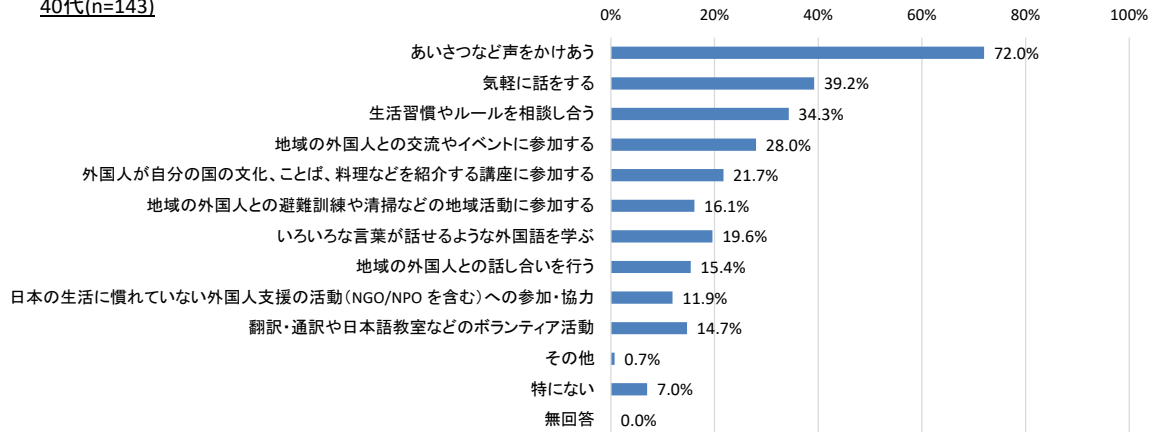
⑧-1「国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解し、地域でともに生きていく社会」を「多文化共生社会」といいます。「多文化共生のまちづくり」を進めるために、あなたは何ができると思いますか？



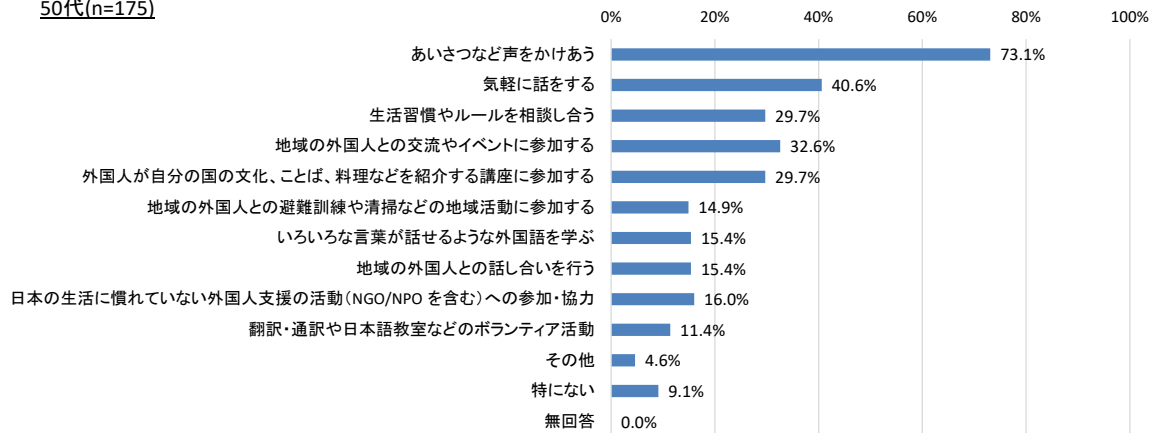
〇年代ごとの、多文化共生のまちづくりを進めるために、自分ができると思うこと クロス分析
[⑧-1×年代]



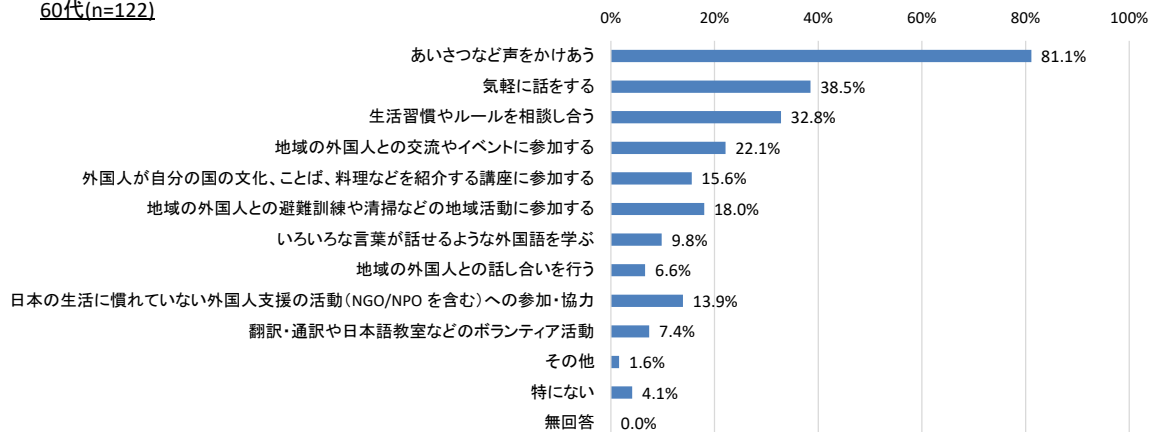
40代(n=143)



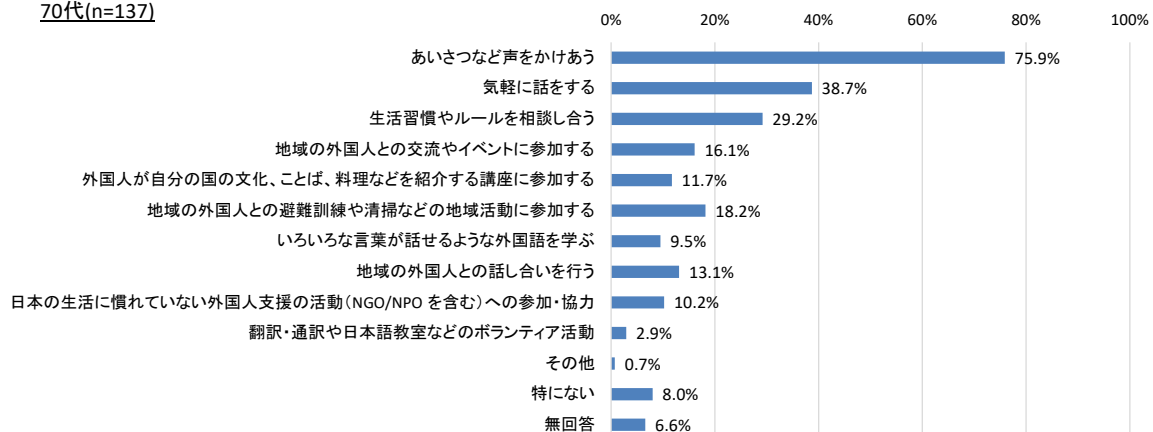
50代(n=175)



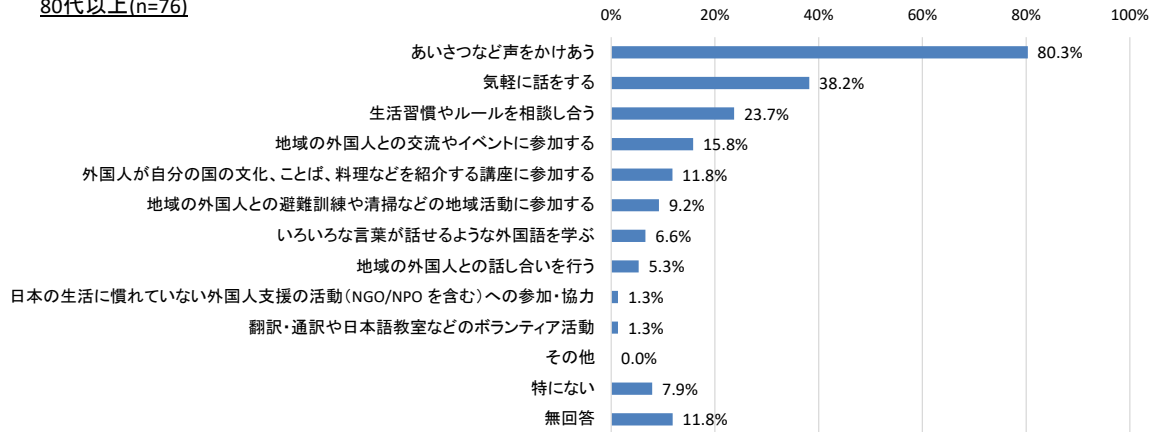
60代(n=122)



70代(n=137)



80代以上(n=76)

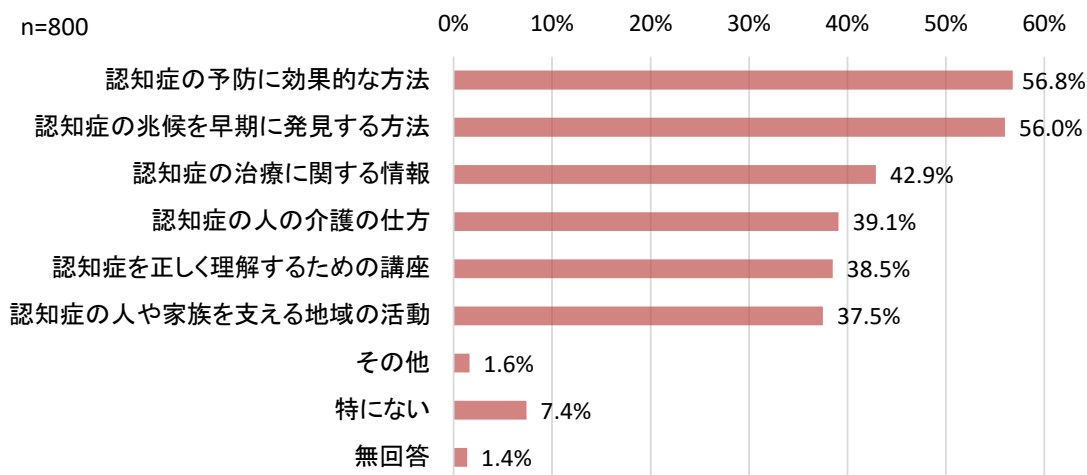


【コメント】

「多文化共生のまちづくり」を進めるためにできることとしては、「あいさつなど声をかけあう」が74.5%で最も高く、次いで「気軽に話をする」37.8%、「生活習慣やルールを相談し合う」28.5%となっている。

年代別にみると、「あいさつなど声をかけあう」では60代が高く、「気軽に話をする」は50代、「生活習慣やルールを相談し合う」は40代の割合が高くなっている。また、「地域の外国人との交流やイベントに参加する」では50代の割合が高くなっている。

⑧-2 鶴見区では、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して、様々な取組を行っています。あなたは、認知症のどんなことに関心がありますか？

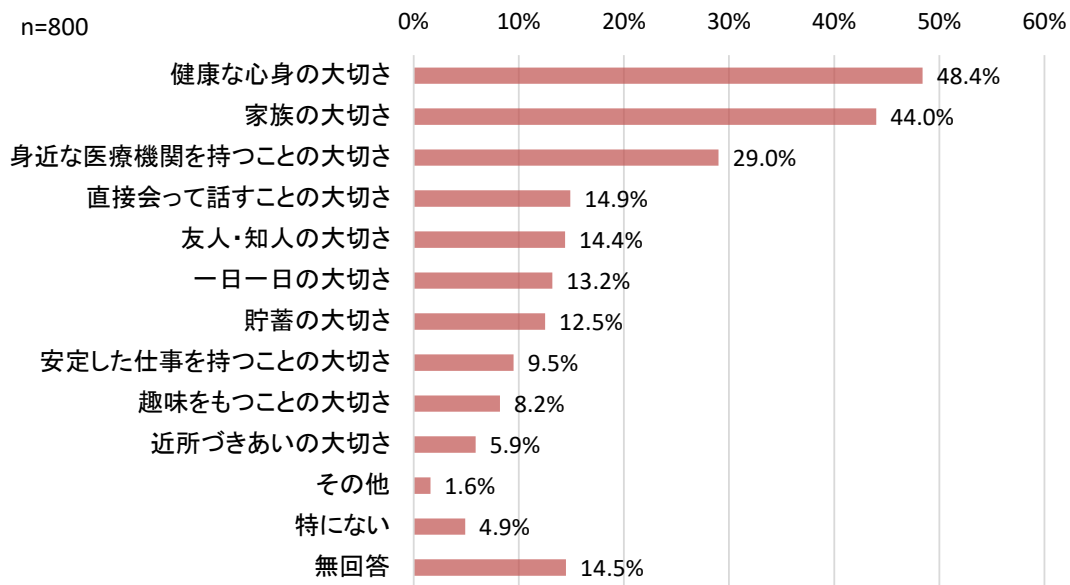


【コメント】

認知症への関心についてみると、「認知症の予防に効果的な方法」が56.8%と最も高く、次いで「認知症の兆候を早期に発見する方法」が56.0%となっている。

9. 心と体の健康などについて

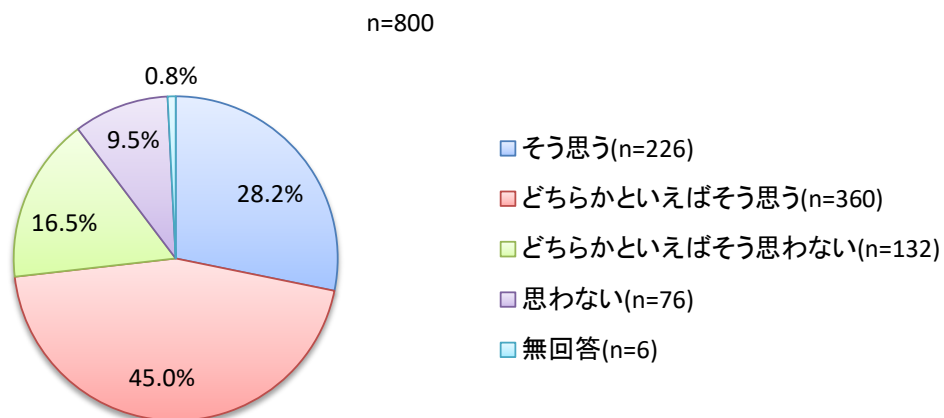
⑨-1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前よりもあなたが一層大切と思うようになったことを教えてください。



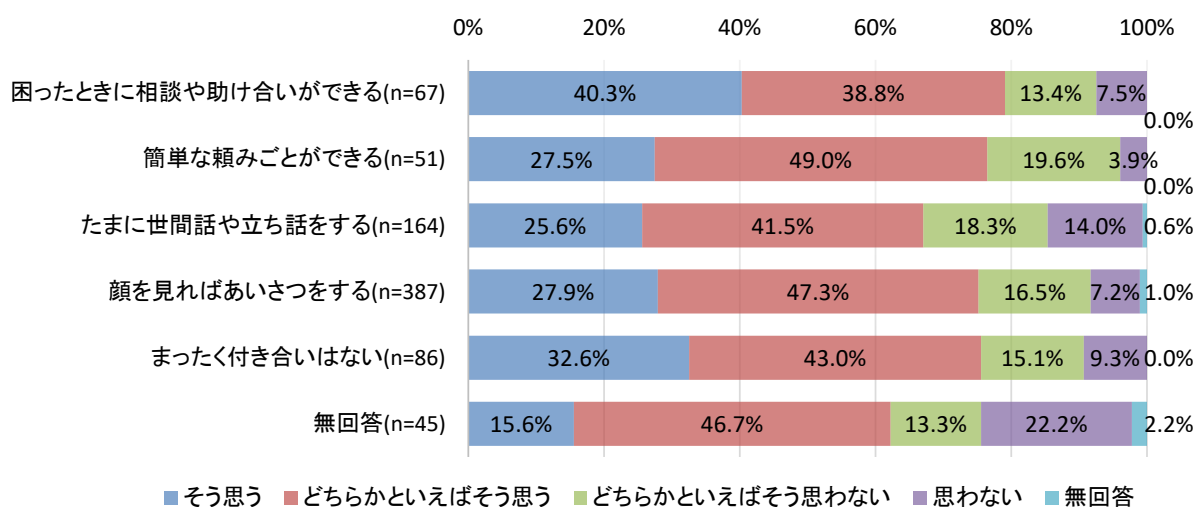
【コメント】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大前よりも大切と思うようになったこととしては、「健康な心身の大切さ」が48.4%で最も高く、次いで「家族の大切さ」が44.0%となっている。

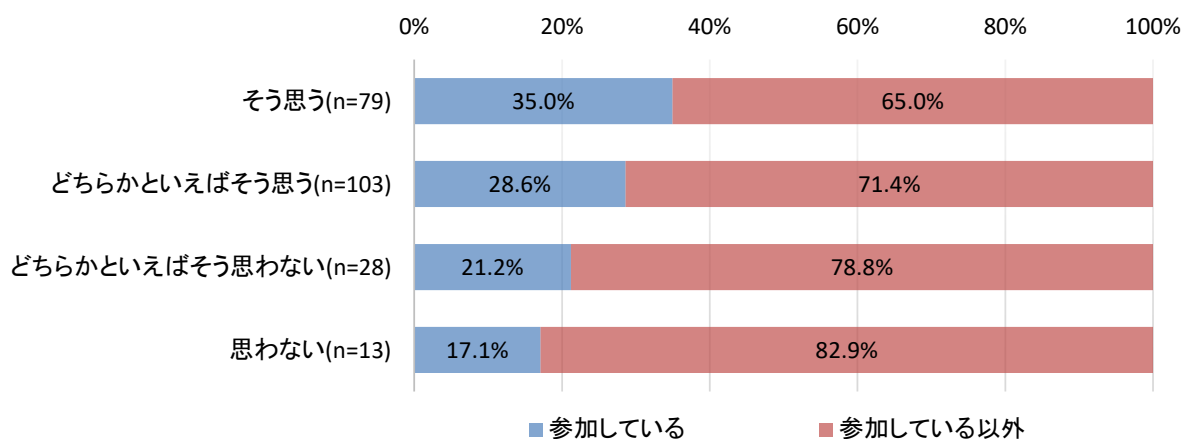
⑨-2 あなたはご自身のことを健康だと思えますか？



○近所付き合いの程度ごとの健康観 クロス分析[⑨-2×②-1]



○健康観ごとの、地域活動参加状況 クロス分析[⑨-2×⑤-1「何らかに参加している」]



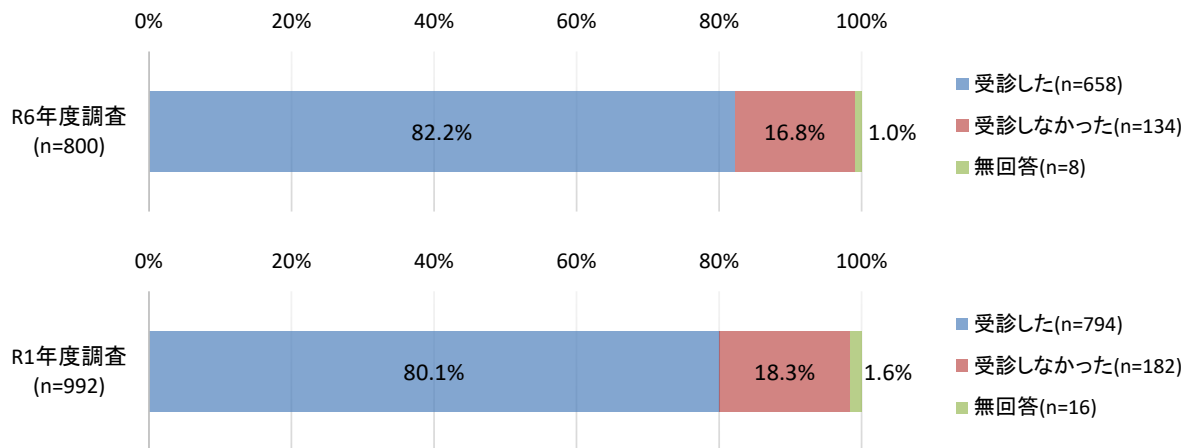
【コメント】

健康観について、「健康と思う」または「どちらかという健康と思う」という人は73.2%であった。

近所付き合いの程度と健康観についてみると、「困ったときに相談や助け合いができる」において、「健康だと思う」人の割合が40.3%と最も高くなっている。

健康観と地域活動への参加状況についてみると、健康と思う人ほど地域活動への参加率が上昇する傾向にある。

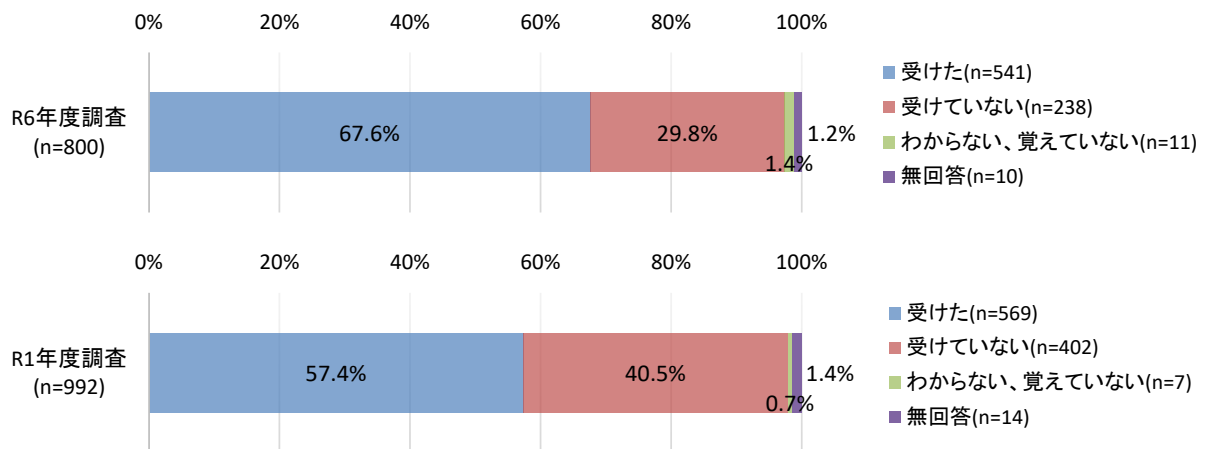
⑨-3 あなたは過去1年間に一般的な健康診断を受診されましたか？



【コメント】

健康診断の受診状況について、82.2%の人が受診している。令和元年度調査と比較すると2.1%増加している。

⑨-4 あなたは過去1年間に歯科健診を受けましたか？

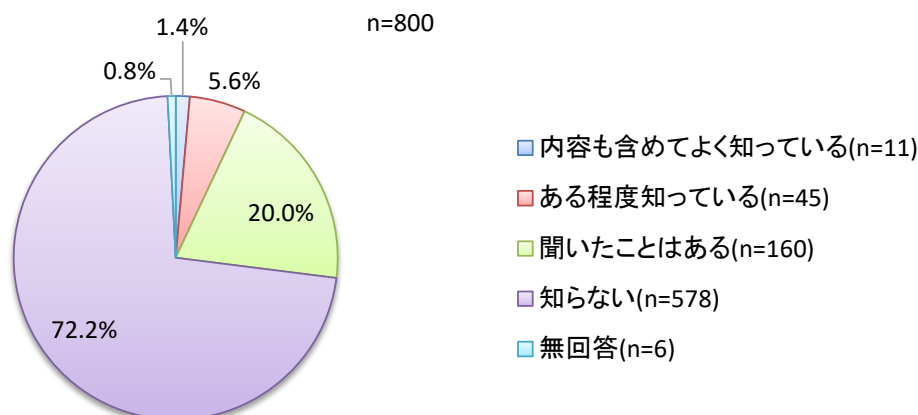


【コメント】

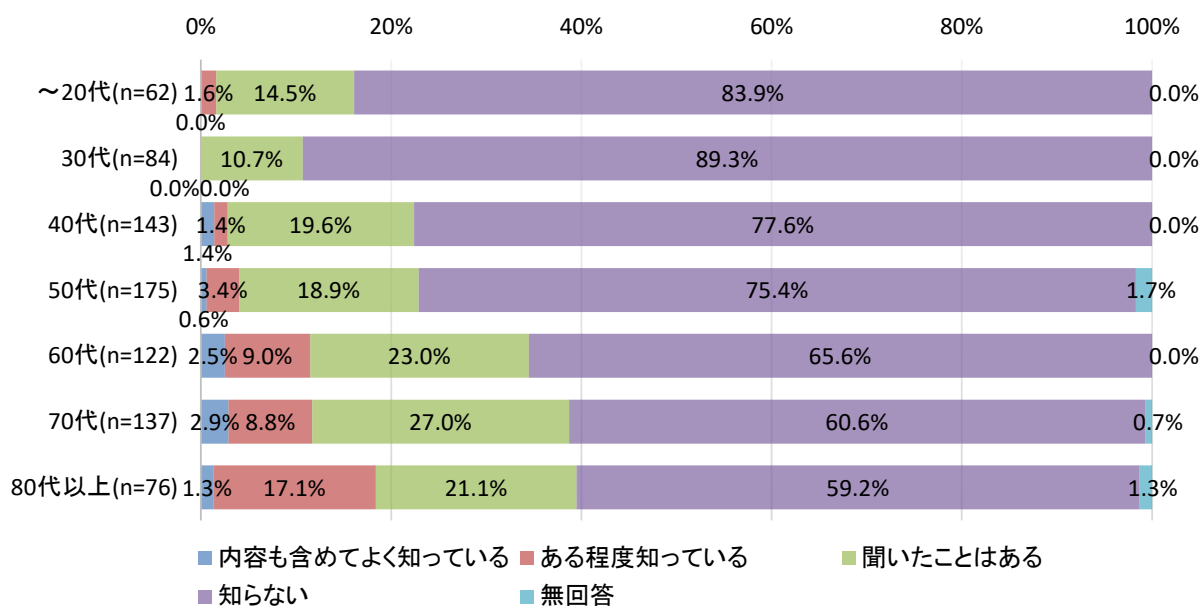
歯科健診の受診状況について、67.6%の人が受診している。令和元年度調査と比較すると10.2%増加している。

10. 「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」について

⑩ あなたは「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」を知っていますか？



〇年代ごとの「鶴見・あいねっと」の認知度 クロス分析[⑩×年代]



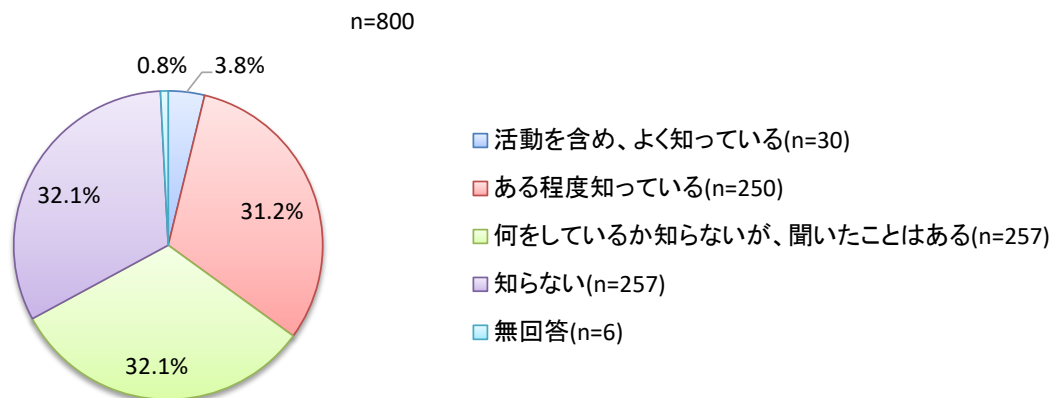
【コメント】

「鶴見区・あいねっと」について、「内容も含めてよく知っている」「ある程度知っている」を合わせると（ある程度以上知っている人）7.0%、「知らない」は72.2%となっている。

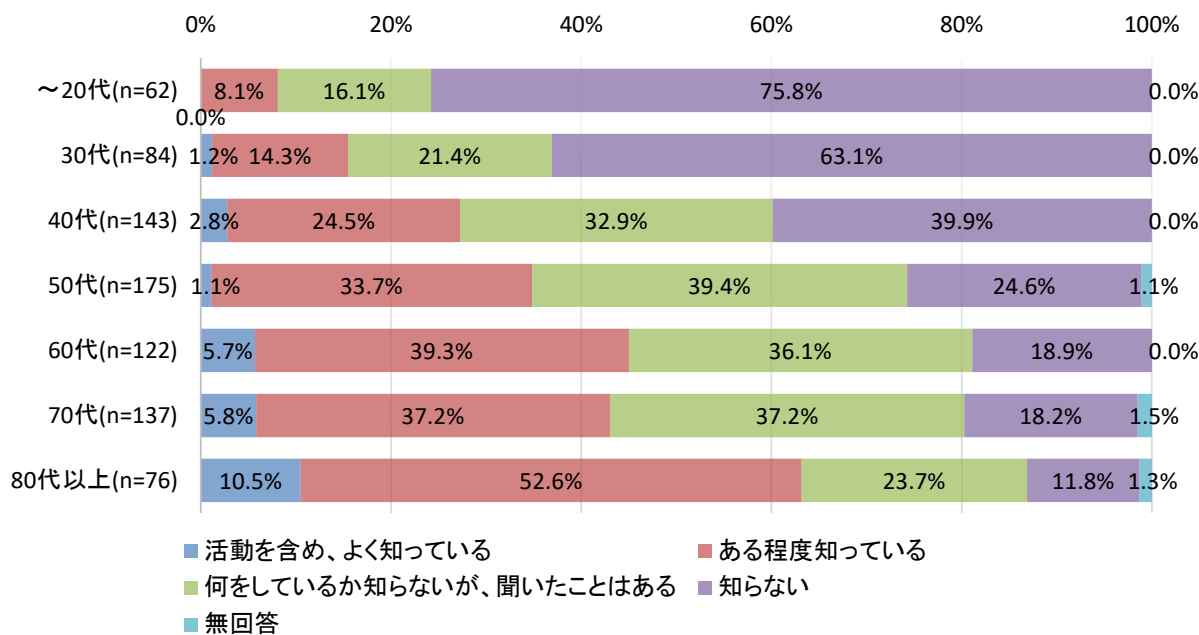
年代別にみると、「ある程度以上知っている人」は年代が上がるにつれて割合が増加しているが、最も高い80代以上においても18.4%と2割に満たず、30代では0%となっている。

11. 「民生委員・児童委員」「地区社会福祉協議会」「地域ケアプラザ」について

⑪-1 あなたは「民生委員・児童委員」を知っていますか？



〇年代ごとの「民生委員・児童委員」の認知度 クロス分析 [⑪-1×年代]

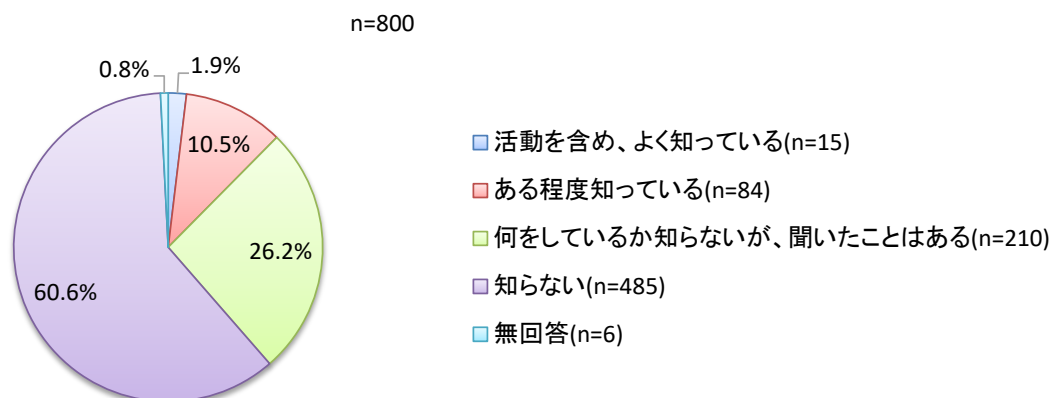


【コメント】

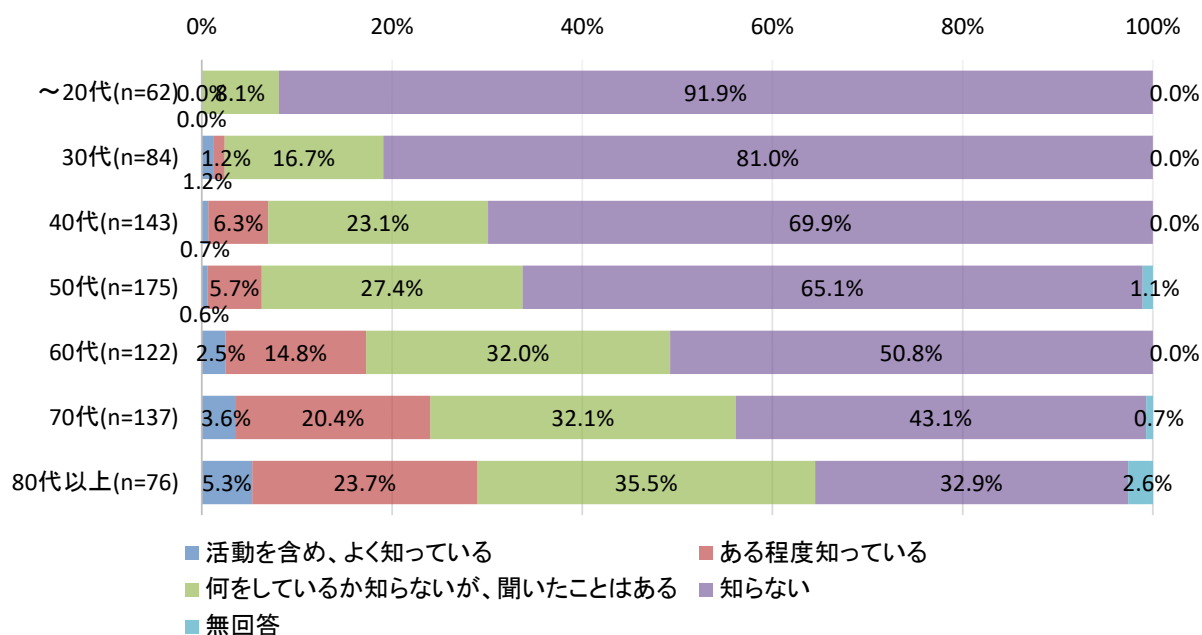
「民生委員・児童委員」を「ある程度以上知っている人（活動を含め、よく知っている+ある程度知っている）」は 35.0%となっている。

年代別にみると、「ある程度以上知っている人」は 80代以上の 63.1%が最も高く、年代が下がるにつれて割合が減少傾向にある。～20代では「知らない」人が 75.8%であった。

⑪-2 あなたは会「地区社会福祉協議会」を知っていますか？



〇年代ごとの「地区社会福祉協議会」の認知度 クロス分析[⑪-2×年代]



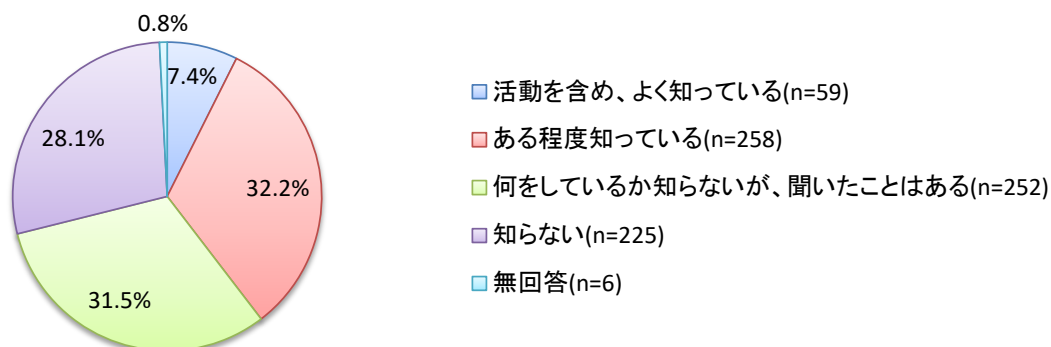
【コメント】

「地区社会福祉協議会」を「ある程度以上知っている人（活動を含め、よく知っている＋ある程度知っている）」は12.4%となっている。

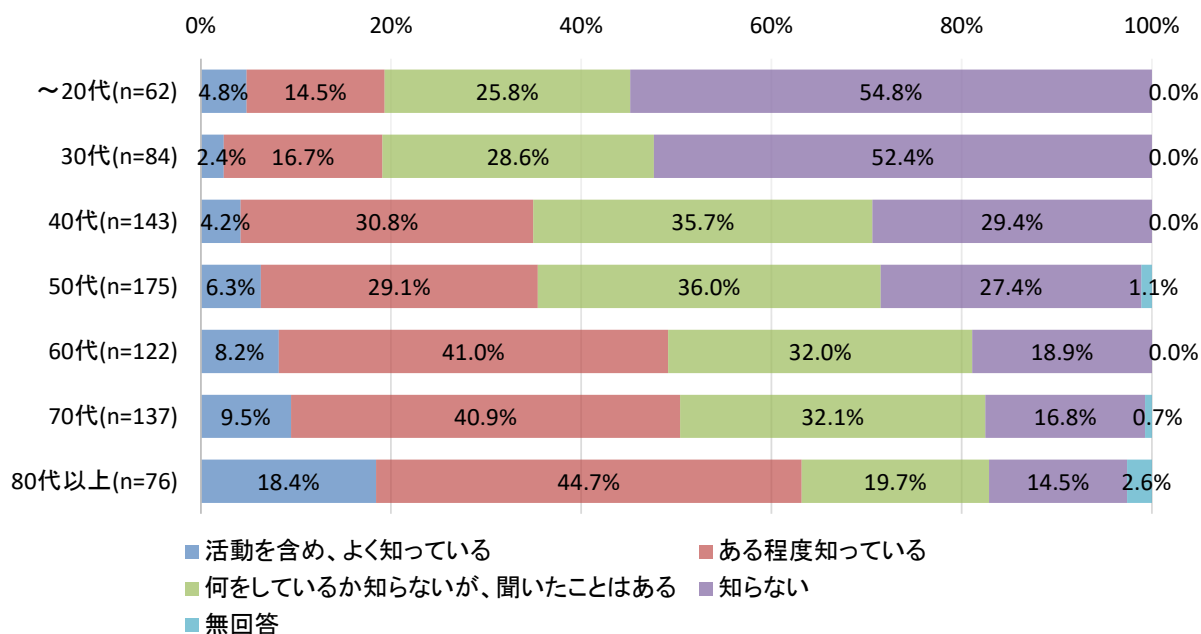
年代別にみると、「ある程度以上知っている人」の割合は年代が上がるにつれて増加しており、最も高い80代以上においては約3割を占めている。30代においては「知らない」人が約8割、～20代においては約9割を占めている。

⑪-3 あなたは「地域ケアプラザ」を知っていますか？

n=800



〇年代ごとの「地域ケアプラザ」の認知度 クロス分析 [⑪-3×年代]



【コメント】

「地域ケアプラザ」については、「ある程度以上知っている人（活動を含め、よく知っている＋ある程度知っている）」は39.6%と約4割を占めている。

年代別にみると、「活動を含め、よく知っている」人の割合は年代が上がるにつれて増加している。「ある程度以上知っている」の割合をみると、60代、70代は約5割、80代以上は6割強を占めている。